

第6章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲の概況については、主に既存資料による調査結果を記載した。調査範囲は、煙突からの排出ガスによる大気質への影響を考慮し、対象事業実施区域から半径6 kmの範囲を基本とした。

6-1 自然的状況

6-1-1 大気質の状況

対象事業実施区域及びその周辺の大気質については、半径約6 kmの範囲に存在する大気環境常時測定局のうち一般環境大気測定局（以下、「一般局」という。）の測定結果を用いて把握した。なお、自動車排出ガス測定局（以下、「自排局」という。）については、当該範囲内に存在しないことから、最寄りの自排局である葭川測定局（対象事業実施区域から約7.6km）の測定結果を用いた。

対象事業実施区域及びその周辺の各測定局等における測定項目は表6-1.1に、位置は図6-1.1に示すとおりである。以下、各項目についての大気汚染の状況を述べる。

表 6-1.1 各測定局の測定項目（平成 27 年度）

種別	地点番号	測定局 ^{注)}	所在地	測定項目								対象事業実施区域からの距離	
				二酸化硫黄	窒素酸化物	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	風向・風速	温度・湿度		ダイオキシン類
一般局	1	大宮小学校	千葉市若葉区	-	○	-	○	○	-	○	-	-	約2.5km
	2	千城台北小学校	千葉市若葉区	○	○	-	○	○	○	○	-	○	約2.7km
	3	都公園	千葉市中央区	○	○	-	○	○	-	○	-	-	約5.5km
自排局	4	葭川	千葉市中央区	-	○	-	-	○	-	-	-	-	約7.6km
その他	5	総合公園体育館	四街道市和田	-	-	-	-	-	-	-	-	○	約4.9km

注) 測定局名について、地点1～4は「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）、地点5は「ダイオキシン類濃度測定調査結果」（四街道市ホームページ）に記載されている名称を用いている。

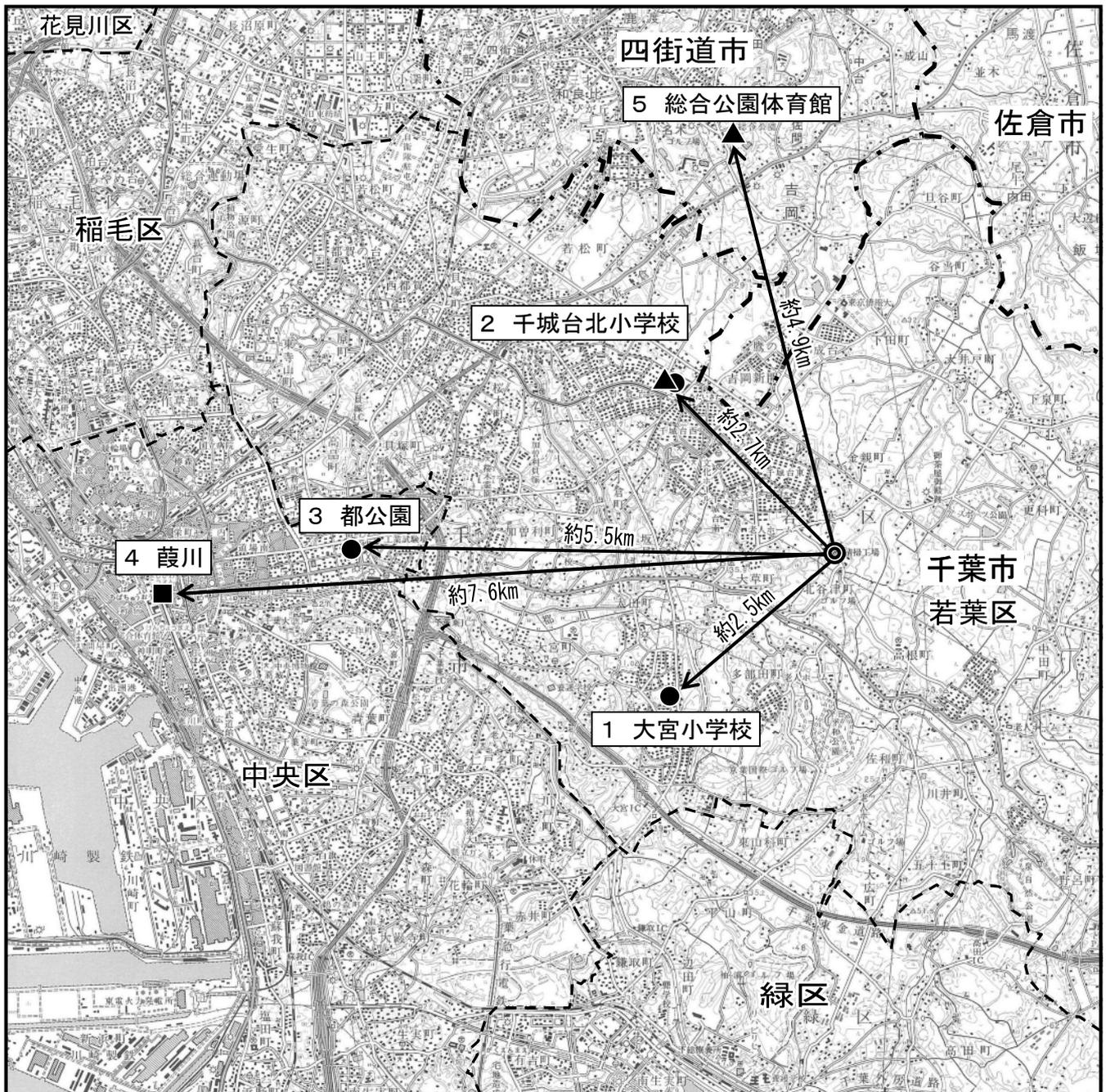
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（千葉県ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

「平成27年度ダイオキシン類濃度測定調査結果」（四街道市ホームページ）



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- 大気環境常時測定局（一般局）
- 大気環境常時測定局（自排局）
- ▲ ダイオキシン類測定地点
- - - 市境
- - - 区境

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）
 「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）
 「平成27年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（千葉県ホームページ）
 「平成27年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）
 「ダイオキシン類濃度測定調査結果」（四街道市ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1:50,000地形図「千葉」「佐倉」を使用し、1:70,000の縮尺に編集したものである。

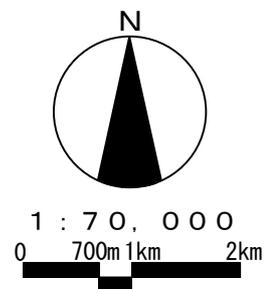


図 6-1.1 大気環境常時測定局位置図

1. 二酸化硫黄 (SO₂)

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、二酸化硫黄の平成27年度の測定結果は表6-1.2(1)に示すとおりである。また、年平均値の経年変化は表6-1.2(2)及び図6-1.2に示すとおりである。

二酸化硫黄は、いずれの測定局においても日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であり、日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したこともなく、環境基準及び千葉県環境目標値（以下、「環境目標値」という。）を達成している。

年平均値の経年変化は、いずれの測定局も横ばい傾向である。

表6-1.2(1) 二酸化硫黄年間測定結果（平成27年度）

種別	地点	測定局	年平均値	1時間値が 0.1ppmを 超えた 時間数	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.04ppmを 超えた日が 2日以上連続 したことの有無 (有×・無○)	環境基準の 達成状況 ^{注1)}	環境目標値の 達成状況 ^{注2)}
			(ppm)	(時間)	(日)	(ppm)			
一般局	2	千城台北小学校	0.002	0	0	0.005	○	○	○
	3	都公園	0.002	0	0	0.007	○	○	○

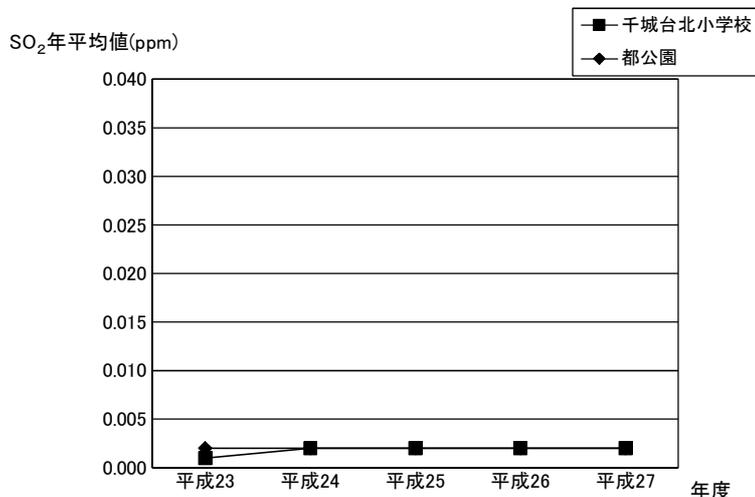
注1) 環境基準の達成状況：○は環境基準（1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。）を達成。
注2) 環境目標値の達成状況：○は環境目標値（1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。）を達成。
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）
「平成27年度大気環境測定結果」（千葉県ホームページ）

表6-1.2(2) 二酸化硫黄年平均値の推移

単位：ppm

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	2	千城台北小学校	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002
	3	都公園	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002

出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉県ホームページ）



出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉県ホームページ）

図6-1.2 二酸化硫黄年平均値の推移

2. 二酸化窒素 (NO₂)

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、二酸化窒素の平成27年度の測定結果は、表6-1.3(1)に示すとおりである。また、二酸化窒素の年平均値の経年変化は、表6-1.3(2)及び図6-1.3に示すとおりである。

二酸化窒素は、すべての測定局で日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であり、環境基準を達成している。また、二酸化窒素の環境目標値（1時間値の日平均値が0.04ppm以下であること。）については、葭川測定局を除くすべての測定局で達成している。

年平均値の経年変化は、各測定局とも減少傾向である。

表6-1.3(1) 二酸化窒素年間測定結果（平成27年度）

種別	地点	測定局	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準の達成状況 ^{注1)}	環境目標値の達成状況 ^{注2)}
			(ppm)	(ppm)		
一般局	1	大宮小学校	0.009	0.025	○	○
	2	千城台北小学校	0.010	0.027	○	○
	3	都公園	0.014	0.031	○	○
自排局	4	葭川	0.024	0.041	○	×

注1) 環境基準の達成状況：○は環境基準（1時間値の1日平均値の年間98%値が0.04ppm から0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。）を達成。

注2) 環境目標値の達成状況：○は環境目標値（1時間値の1日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であること。）を達成。×は未達成。

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

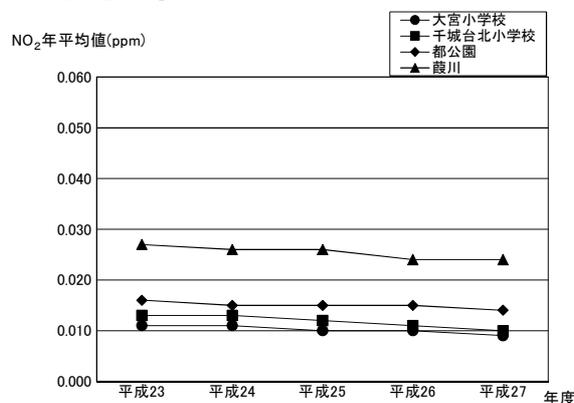
「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

表6-1.3(2) 二酸化窒素年平均値の推移

単位：ppm

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	1	大宮小学校	0.011	0.011	0.010	0.010	0.009
	2	千城台北小学校	0.013	0.013	0.012	0.011	0.010
	3	都公園	0.016	0.015	0.015	0.015	0.014
自排局	4	葭川	0.027	0.026	0.026	0.024	0.024

出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）



出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

図6-1.3 二酸化窒素年平均値の推移

3. 光化学オキシダント

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、光化学オキシダントの平成27年度の測定結果は、表6-1.4(1)に示すとおりである。また、昼間の1時間値が0.12ppm（光化学スモッグ注意報の発令基準レベル。ただし、注意報はこの状態が継続すると判断されるときに発令される。）以上の日数の経年変化は、表6-1.4(2)に示すとおりである。

昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数は大宮小学校測定局で93日、千城台北小学校測定局で74日、都公園測定局で76日であり、いずれの測定局も環境基準及び環境目標値は達成されていない。また、平成23～27年度において1時間値が0.12ppmを超えた日数は1～4日となっている。

なお、光化学オキシダントについて、近年環境基準の達成状況が低いのは、当該地域特有ではなく全国的な傾向である。

表6-1.4(1) 光化学オキシダント年間測定結果（平成27年度）

種別	地点	測定局	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		環境基準の達成状況 ^{注1)}	環境目標値の達成状況 ^{注2)}	時間達成率 ^{注3)} (%)
			日	時間			
一般局	1	大宮小学校	93	463	×	×	91.5
	2	千城台北小学校	74	330	×	×	93.9
	3	都公園	76	315	×	×	94.0

注1) 環境基準の達成状況：×は環境基準（1時間値が0.06ppm以下であること。）を未達成。

注2) 環境目標値の達成状況：×は環境目標値（1時間値が0.06ppm以下であること。）を未達成。

注3) 時間達成率：（昼間の環境基準達成時間／昼間の測定時間）×100（%）

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

表6-1.4(2) 光化学オキシダントの昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数の推移

単位：日

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	1	大宮小学校	4	1	4	1	4
	2	千城台北小学校	2	1	1	1	3
	3	都公園	— ^{注)}	2	3	3	4

注) 都公園測定局では、平成24年度から測定が実施されている。

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）

「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

4. 浮遊粒子状物質 (SPM)

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、浮遊粒子状物質の平成27年度の測定結果は、表6-1.5(1)に示すとおりである。また、浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化は、表6-1.5(2)及び図6-1.4に示すとおりである。

浮遊粒子状物質は、すべての測定局で環境基準及び環境目標値を達成している。

年平均値の経年変化は、いずれの測定局も概ね横ばい傾向である。

表6-1.5(1) 浮遊粒子状物質年間測定結果 (平成27年度)

種別	地点	測定局	年平均値	1時間値が 0.20mg/m ³ を 超えた時間数	日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数	日平均値の 2%除外値	日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日が 2日以上連続 したことの有無 (有×・無○)	環境基準の 達成状況 ^{注1)}	環境目標値の 達成状況 ^{注2)}
			(mg/m ³)	(時間)	(日)	(mg/m ³)			
一般局	1	大宮小学校	0.017	0	0	0.043	○	○	○
	2	千城台北小学校	0.025	0	0	0.054	○	○	○
	3	都公園	0.015	0	0	0.039	○	○	○
自排局	4	葭川	0.021	0	0	0.045	○	○	○

注1) 環境基準の達成状況：○は環境基準（日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下であり、かつ、日平均値が0.10mg/m³を超えた日が2日以上連続していないこと。）を達成

注2) 環境目標値の達成状況：○は環境目標値（日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下であり、かつ、日平均値が0.10mg/m³を超えた日が2日以上連続していないこと。）を達成

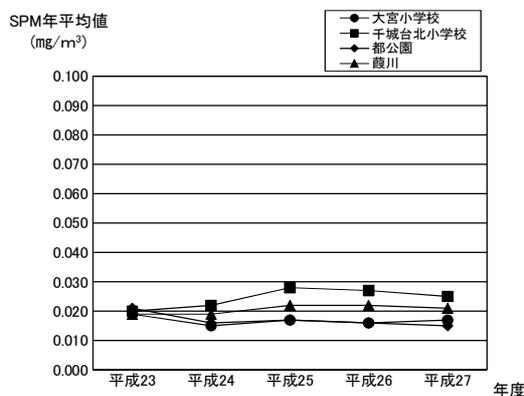
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県）
「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

表6-1.5(2) 浮遊粒子状物質年平均値の推移

単位：mg/m³

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	1	大宮小学校	0.019	0.015	0.017	0.016	0.017
	2	千城台北小学校	0.020	0.022	0.028	0.027	0.025
	3	都公園	0.021	0.016	0.017	0.016	0.015
自排局	4	葭川	0.019	0.019	0.022	0.022	0.021

出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）



出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

図6-1.4 浮遊粒子状物質年平均値の推移

5. 微小粒子状物質 (PM2.5)

対象事業実施区域及びその周辺の大気環境常時測定局における、微小粒子状物質の平成27年度の測定結果は、表6-1.6(1)に示すとおりである。また、微小粒子状物質の年平均値の経年変化は、表6-1.6(2)及び図6-1.5に示すとおりである。

微小粒子状物質は、千城台北小学校測定局で測定されており、環境基準及び環境目標値を達成している。

また、年平均値の経年変化は、平成25年度以降減少傾向にある。

表6-1.6(1) 微小粒子状物質年間測定結果 (平成27年度)

種別	地点	測定局	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準の達成状況 ^{注1)}	環境目標値の達成状況 ^{注2)}
			($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
一般局	2	千城台北小学校	13.0	33.5	○	○

注1) 環境基準の達成状況：○は環境基準(年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。)を達成。

注2) 環境目標値の達成状況：○は環境目標値(年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。)を達成。

出典：「平成27年度大気環境測定結果」(千葉市ホームページ)

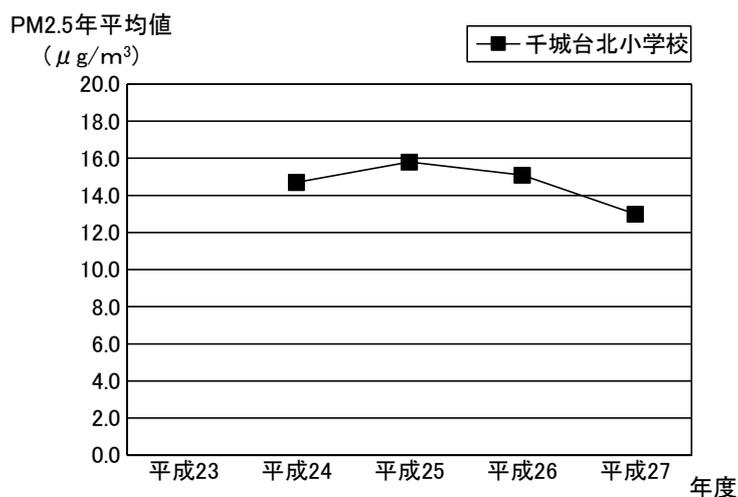
表6-1.6(2) 微小粒子状物質年平均値の推移

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	2	千城台北小学校	— ^{注)}	14.7	15.8	15.1	13.0

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

注) 千城台北小学校測定局では、平成24年度から測定が実施されている。

出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」(千葉市ホームページ)



出典：「平成23～27年度大気環境測定結果」(千葉市ホームページ)

図6-1.5 微小粒子状物質年平均値の推移

6. ダイオキシン類

対象事業実施区域及びその周辺における、ダイオキシン類の平成27年度の測定結果は、表6-1.7(1)に示すとおりである。また、ダイオキシン類の年平均値の経年変化は、表6-1.7(2)及び図6-1.6に示すとおりである。ダイオキシン類は、いずれの測定局においても年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下であり、環境基準を達成している。

また、年平均値の経年変化は、いずれの測定局も横ばい傾向である。

表6-1.7(1) ダイオキシン類年間測定結果（平成27年度）

単位：pg-TEQ/m³

種別	地点	測定局	測定結果			環境基準の達成状況 ^{注2)}
			夏季 ^{注1)}	冬季 ^{注1)}	年平均値	
一般局	2	千城台北小学校	0.0072	0.052	0.030	○
その他	5	総合公園体育館	0.0096	0.093	0.051	○

注1) 夏季は平成27年7月9日～7月16日、冬季は平成28年1月6日～1月13日の期間の測定結果を示している。

注2) 環境基準の達成状況：○は環境基準（年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下であること。）を達成。

出典：「ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

「ダイオキシン類濃度測定結果」（四街道市ホームページ）

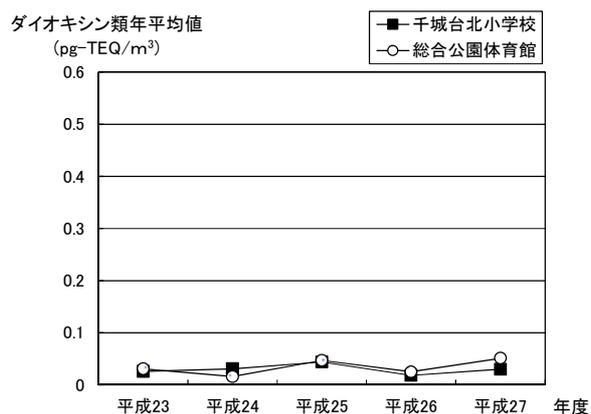
表6-1.7(2) ダイオキシン類年平均値の推移

単位：pg-TEQ/m³

種別	地点	測定局	年度				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般局	2	千城台北小学校	0.026	0.031	0.044	0.018	0.030
その他	5	総合公園体育館	0.031	0.016	0.047	0.025	0.051

出典：「ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

「ダイオキシン類濃度測定結果」（四街道市ホームページ）



出典：「ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

「ダイオキシン類濃度測定結果」（四街道市ホームページ）

図6-1.6 ダイオキシン類年平均値の推移

6-1-2 気象の状況

対象事業実施区域の最寄りの気象観測所である千葉特別地域気象観測所（対象事業実施区域から西約8.9km）における10年間（平成19～28年）の気象概況は、表6-1.8(1)～(3)に示すとおりである。なお、千葉特別地域気象観測所の概要及び位置は、表6-1.9及び図6-1.7に示すとおりである。

過去10年間の平均をみると、平均降水量は1,502.5mm（最大日降水量：238.0mm）、平均気温は16.4℃（最高気温：38.5℃、最低気温：-1.9℃）、平均風速は3.8m/秒（最大風速：24.4m/秒）となっている。

表6-1.8(1) 千葉特別地域気象観測所の気象概況（降水量）

年	項目	年間（月間） 降水量 (mm)	最大日降水量		最大時間降水量	
			(mm)	起日	(mm)	起日
平成19年		1,190.0	110.0	10月27日	33.5	9月12日
平成20年		1,639.0	83.5	4月8日	39.5	8月30日
平成21年		1,636.5	112.5	8月10日	48.5	8月10日
平成22年		1,525.0	153.0	9月8日	68.0	9月8日
平成23年		1,258.5	92.5	10月5日	25.5	9月21日
平成24年		1,614.0	64.0	10月4日	54.5	10月5日
平成25年		1,446.5	238.0	10月16日	61.5	10月16日
平成26年		1,495.5	112.5	6月6日	52.5	7月19日
平成27年		1,615.5	117.0	9月10日	45.0	7月3日
平成28年		1,604.5	98.5	9月20日	55.0	9月13日
	1月	80.0	59.0	1月18日	8.0	1月18日
	2月	60.0	34.0	2月20日	9.0	2月20日
	3月	140.0	45.0	3月7日	13.5	3月7日
	4月	91.0	35.5	4月7日	12.0	4月7日
	5月	160.0	50.5	5月17日	15.0	5月17日
	6月	134.5	78.0	6月13日	12.5	6月13日
	7月	94.5	34.5	7月15日	23.0	7月15日
	8月	250.5	81.0	8月22日	16.5	8月22日
	9月	286.0	98.5	9月20日	55.0	9月13日
	10月	104.0	26.5	10月3日	18.5	10月3日
	11月	147.0	47.5	11月11日	9.0	11月11日
	12月	57.0	31.5	12月14日	11.0	12月14日
	全期間	平均 1,502.5	最大 238.0	—	最大 68.0	—

出典：「各種データ・資料」（気象庁ホームページ）をもとに作成

表6-1.8(2) 千葉特別地域気象観測所の気象概況（気温）

年	項目 年間（月間） 平均気温 （℃）	最高気温		最低気温	
		（℃）	起日	（℃）	起日
平成 19 年	16.6	37.4	8 月 11 日	-0.2	2 月 25 日
平成 20 年	16.1	35.3	8 月 4 日	-1.0	2 月 18 日
平成 21 年	16.3	33.7	7 月 16 日	0.2	1 月 16 日
平成 22 年	16.6	37.3	7 月 21 日	-1.1	2 月 4 日
平成 23 年	16.3	36.3	8 月 12 日	-1.2	1 月 31 日
平成 24 年	15.9	35.4	8 月 17 日	-1.9	1 月 31 日
平成 25 年	16.6	38.4	8 月 11 日	-0.9	2 月 25 日
平成 26 年	16.3	35.0	7 月 25 日	-1.6	2 月 6 日
平成 27 年	16.7	38.5	8 月 7 日	-0.8	2 月 10 日
平成 28 年	16.8	37.7	8 月 9 日	-0.6	1 月 26 日
1 月	6.7	15.9	1 月 5 日	-0.6	1 月 26 日
2 月	7.6	22.1	2 月 14 日	0.0	2 月 8 日
3 月	10.3	19.9	3 月 8 日	1.7	3 月 2 日
4 月	15.7	24.8	4 月 18 日	5.0	4 月 12 日
5 月	20.1	30.0	5 月 23 日	12.7	5 月 18 日
6 月	22.6	32.9	6 月 18 日	14.7	6 月 3 日
7 月	25.4	33.9	7 月 7 日	19.1	7 月 23 日
8 月	27.3	37.7	8 月 9 日	21.2	8 月 28 日
9 月	24.9	32.3	9 月 8 日	18.3	9 月 20 日
10 月	19.4	32.8	10 月 6 日	10.5	10 月 25 日
11 月	12.1	21.3	11 月 6 日	0.8	11 月 24 日
12 月	9.9	21.7	12 月 22 日	1.4	12 月 17 日
全期間	平均 16.4	最高 38.5	—	最低 -1.9	—

出典：「各種データ・資料」（気象庁ホームページ）をもとに作成

表6-1.8(3) 千葉特別地域気象観測所の気象概況（風速及び年間日照時間）

年	項目 年間（月間） 平均風速 （m/秒）	最大風速			年間（月間） 日照時間 （時間）
		（m/秒）	風向	起日	
平成 19 年	3.8	20.9	南東	9 月 6 日	1,980.2
平成 20 年	3.6	17.9	北西	2 月 24 日	1,873.2
平成 21 年	3.9	19.7	南西	10 月 8 日	1,701.2
平成 22 年	4.0	24.4	南南西	3 月 21 日	1,931.8
平成 23 年	3.9	21.4	南南西	9 月 21 日	2,082.6
平成 24 年	3.7	22.2	南南西	6 月 20 日	2,039.3
平成 25 年	4.0	20.3	北西	10 月 16 日	2,135.3
平成 26 年	3.7	22.2	西	10 月 6 日	2,113.4
平成 27 年	3.8	18.3	南南西	12 月 11 日	2,034.1
平成 28 年	3.6	21.6	南西	8 月 22 日	1,856.7
1 月	3.1	15.8	南西	1 月 19 日	194.2
2 月	3.7	16.2	南南西	2 月 14 日	168.4
3 月	3.5	11.5	南西	3 月 28 日	149.6
4 月	4.4	19.7	南南西	4 月 17 日	138.9
5 月	4.4	16.4	南西	5 月 11 日	215.9
6 月	3.7	15.6	南西	6 月 25 日	135.1
7 月	3.4	11.2	南西	7 月 3 日	155.6
8 月	4.0	21.6	南西	8 月 22 日	168.8
9 月	3.3	12.8	南南東	9 月 8 日	90.3
10 月	3.0	16.0	南南西	10 月 6 日	132.2
11 月	2.9	10.8	北東	11 月 11 日	123.1
12 月	3.4	16.6	南南西	12 月 23 日	184.6
全期間	平均 3.8	最大 24.4	—	—	平均 1,974.8

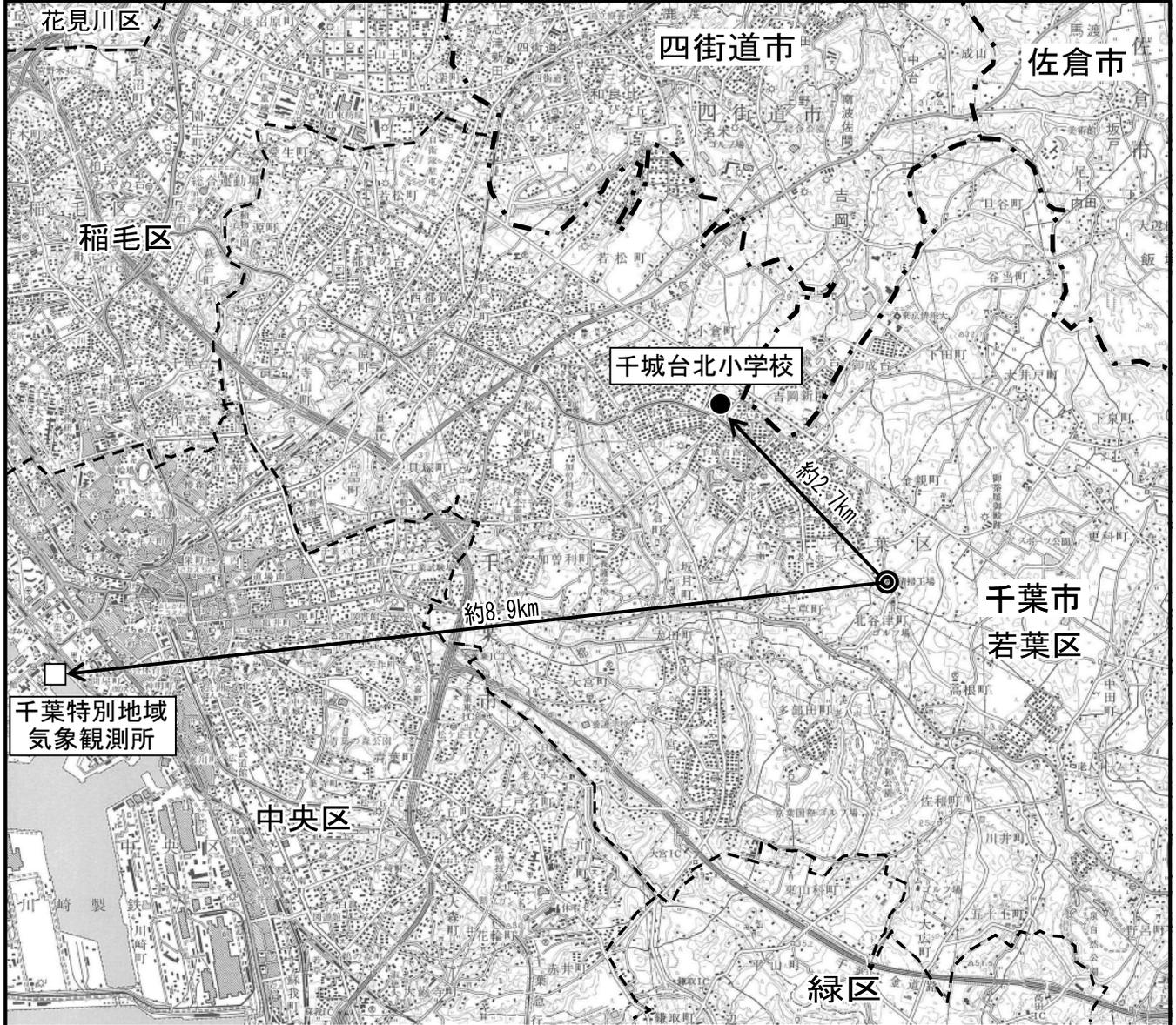
注) ---: 観測所の移転、観測方法の変更、測器の変更などの理由により、観測データがこの前後で均質でない可能性がある。

出典：「各種データ・資料」（気象庁ホームページ）をもとに作成

表6-1.9 千葉特別地域気象観測所の概要

所在地	北緯	東経	観測所の 標高	風速計の 地上高さ	観測開始年月日
千葉市中央区 中央港	35度36.1分	140度6.2分	3 m	47.9m	昭和56年 3月30日

出典：「地域気象観測所一覧」（気象庁ホームページ）



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- 気象観測所
- · - 市境
- 大気環境常時測定局（一般局）
- - - 区境

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年 8月 千葉県）
 「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）
 「地域気象観測所一覧」（気象庁ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の 1:50,000 地形図「千葉」を使用し、1:70,000 の縮尺に編集したものである。

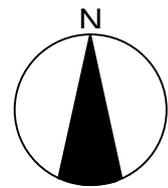
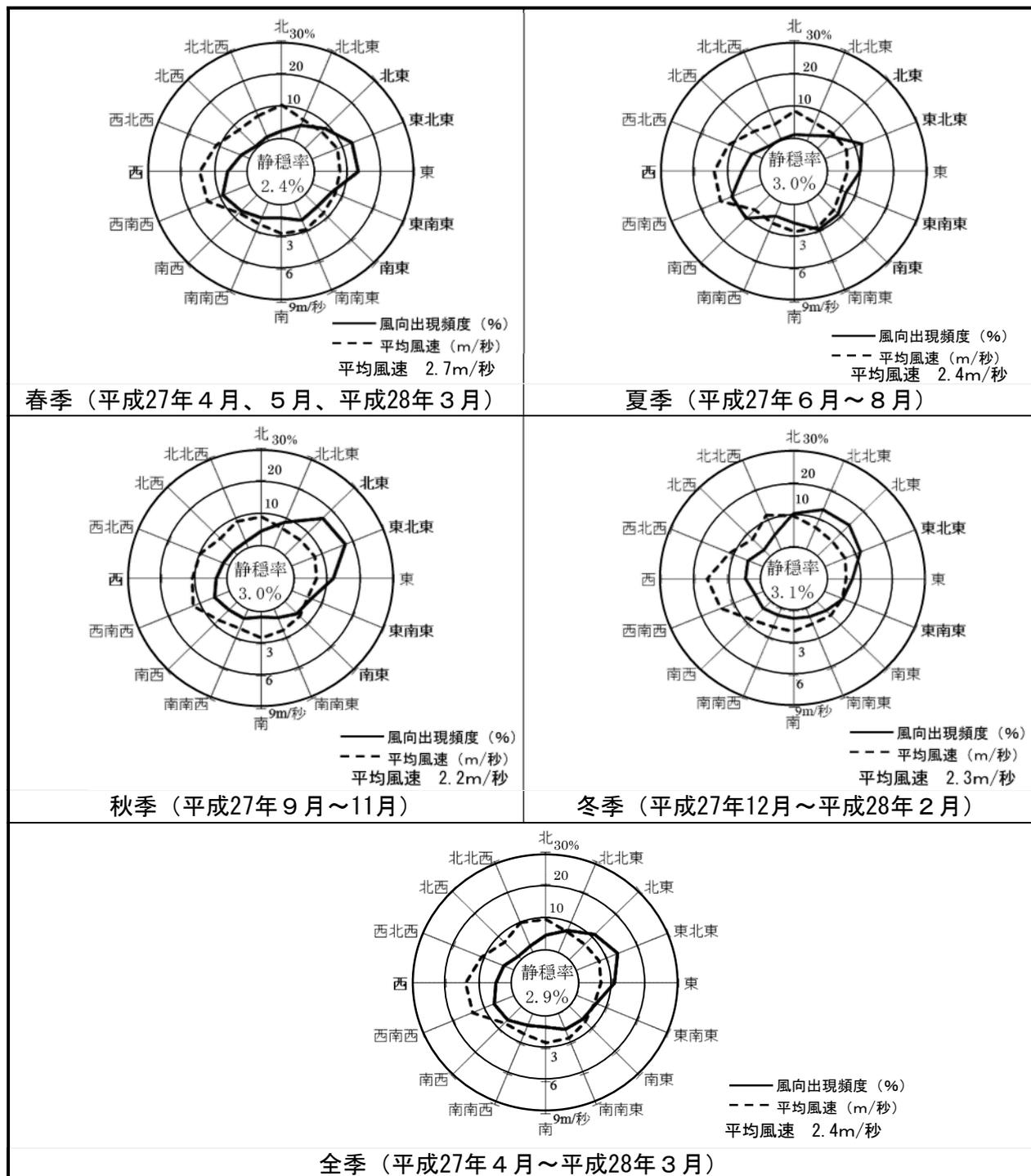


図 6-1.7 対象事業実施区域周辺の気象観測地点

また、対象事業実施区域及びその周辺における風の状況は、対象事業実施区域と風の状況が類似していると考えられる千城台北小学校測定局（一般局）を用いて把握した。千城台北小学校測定局における平成27年度の季節別風配図は、図6-1.8に示すとおりである。全季の風配図を見ると、平均風速は2.4m/秒であり、東北東の風が最も多くなっている。

なお、千城台北小学校測定局の位置は、図6-1.7に示したとおりである。



注1) 静穏：0.2m/秒以下

注2) 測定局名については、「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）に記載されている名称を用いている。

出典：「千葉県大気環境常時監視リアルタイム表示システム常時監視データ（過去データ）」（千葉県ホームページ）をもとに作成
「平成27年度大気環境測定結果」（千葉市ホームページ）

図6-1.8 千城台北小学校測定局における風配図

6-1-3 水質の状況

対象事業実施区域及びその周辺において実施されている公共用水域の水質測定地点は、表6-1.10及び図6-1.9に示すとおりである。平成27年度の測定結果は、表6-1.11(1)～(2)に示すとおりである。

生活環境の保全に関する環境基準は類型指定されている水域に、人の健康の保護に関する環境基準は全公共用水域に適用される。

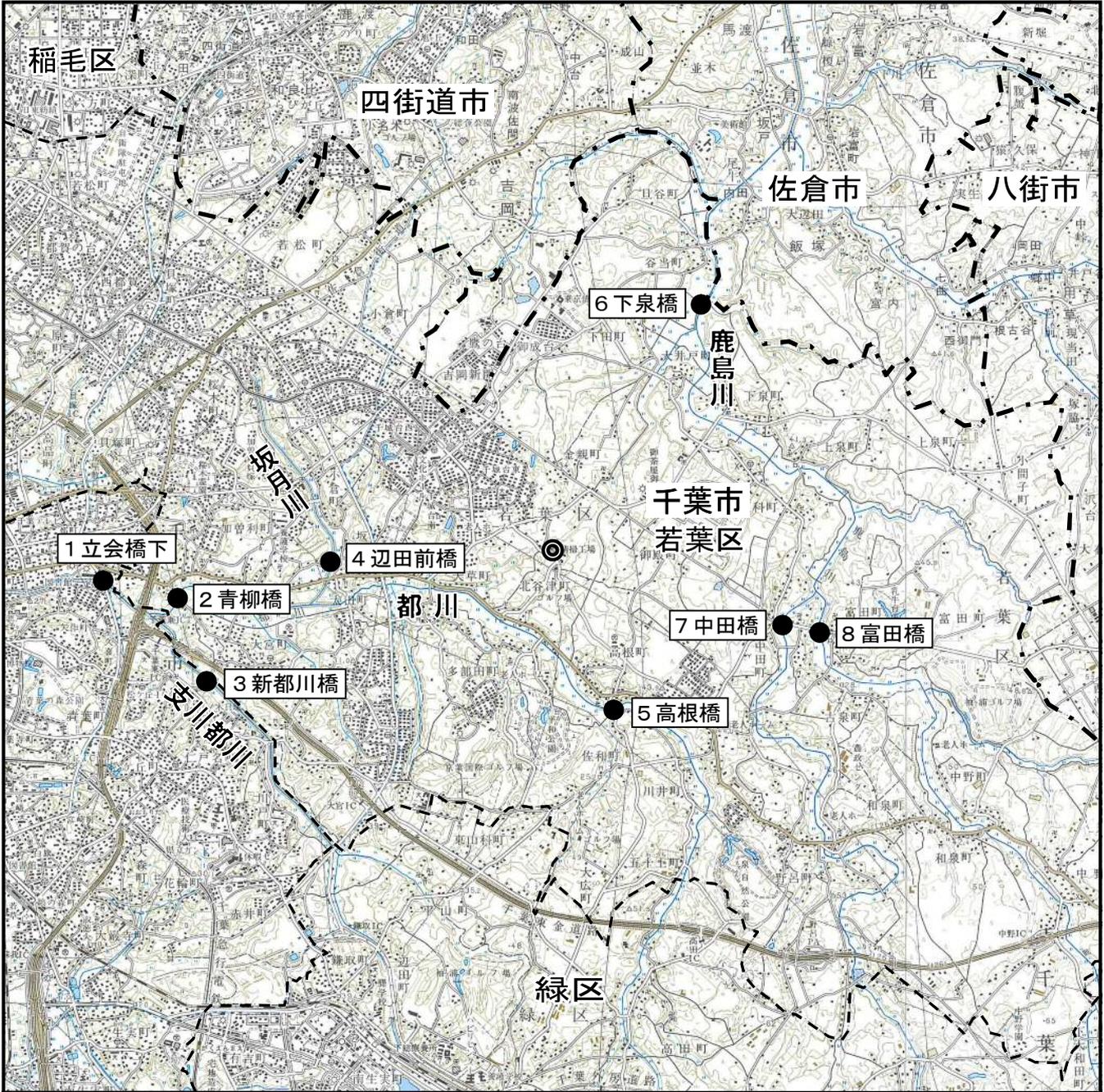
測定結果をみると、下泉橋の大腸菌群数を除くすべての項目が環境基準及び環境目標値に適合している。

表6-1.10 公共用水域水質測定地点（平成27年度）

区分	水域名	地点番号	地点名	環境基準類型 ^{注)}	環境目標値の有無	調査機関名
				BOD等	有：○ 無：－	
河川	都川	1	立会橋下	E	－	千葉市
		2	青柳橋	E	○	
		3	新都川橋	－	○	
		4	辺田前橋	－	○	
		5	高根橋	E	○	
	鹿島川	6	下泉橋	A	○	
		7	中田橋	－	－	
		8	富田橋	－	－	

注) 環境基準類型は表6.2-22(1)を参照。生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）は類型指定されている水域に適用され、人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）は全公共用水域に適用される。

出典：「平成27年度公共用水域水質調査結果」（千葉市ホームページ）



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- 市境
- 区境
- 水質測定地点
- 河川
- 貯水池等

出典：「平成 27 年度公共用水域水質調査結果」（千葉市ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の 1:50,000 地形図「千葉」「東金」を使用し、1:70,000 の縮尺に編集したものである。

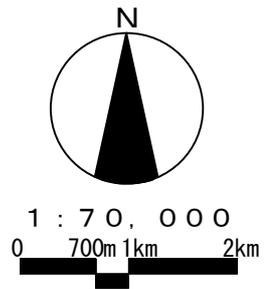


図 6-1.9 公共用水域水質測定地点

表6-1.11(1) 公共用水域の水質測定結果（平成27年度）

項目		測定地点名	河川					環境基準	環境目標値		
			都川						青柳橋・高根橋	新都川橋	辺田前橋
			立会橋下	青柳橋	新都川橋	辺田前橋	高根橋				
環境基準類型 ^{注1)}	BOD等	E	E	—	—	E	E	—	—	—	
生活環境項目	pH	7.7	7.7	7.6	7.5	7.7	6.5~8.5	—	—	—	
	DO (mg/L)	9.0	9.3	8.9	8.5	8.9	2以上	7.5以上	5以上	5以上	
	BOD (mg/L)	1.5	1.7	1.0	2.1	1.1	10以下	3以下	3以下	5以下	
	COD (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	SS (mg/L)	5	5	4	5	4	ごみ等の浮遊が認められないこと。	—	—	—	
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	—	—	—	—	—	—	1,000以下	5,000以下	5,000以下	
	N-ヘキサノ抽出物質 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全リン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全亜鉛 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003以下	0.003以下			
	全シアン (mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと			
	鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	0.002	0.01以下	0.01以下			
	六価クロム (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下	0.05以下			
	砒素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01以下	0.01以下			
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005以下	0.0005以下			
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	—	—	検出されないこと	検出されないこと			
	PCB (mg/L)	—	—	—	—	—	検出されないこと	検出されないこと			
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下	0.02以下			
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下	0.002以下			
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004以下	0.004以下			
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下	0.1以下			
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04以下	0.04以下			
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下	1以下			
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006以下	0.006以下			
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下			
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下			
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下	0.002以下			
	チウラム (mg/L)	—	—	—	—	—	0.006以下	0.006以下			
	シマジン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.003以下	0.003以下			
	チオベンカルブ (mg/L)	—	—	—	—	—	0.02以下	0.02以下			
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下			
	セレン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.01以下	0.01以下			
	ふっ素 (mg/L)	0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8以下	0.8以下			
	ほう素 (mg/L)	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下	1以下			
	1,4-ジオキサン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.05以下	0.05以下			
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	2.3	2.8	2.1	2.8	3.1	10以下	10以下			

注1) 環境基準類型は表6.2-22(1)を参照。

注2) 表中の値のBODは年間75%値、全シアンは最高値、その他は年平均値を示している。

注3) 表中の は、環境基準を超過していることを示している。

注4) 表中の「—」は調査を行っていない、または環境基準類型が設定されていないことを示している。

出典：「平成27年度公共用水域水質調査結果」（千葉市ホームページ）

表6-1.11(2) 公共用水域の水質測定結果（平成27年度）

項目		測定地点名		河川			環境基準	環境目標値
		鹿島川		下泉橋	中田橋	富田橋		
		BOD等						
環境基準類型 ^{注1)}	BOD等	A	—	—	A	—	—	
生活環境項目	pH	7.7	7.8	7.8	6.5～8.5	—	—	
	DO (mg/L)	10	11	10	7.5以上	7.5以上	7.5以上	
	BOD (mg/L)	1.0	1.6	0.8	2以下	2以下	2以下	
	COD (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
	SS (mg/L)	4	3	3	25以下	—	—	
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	240,000	310,000	8,500	1,000以下	1,000以下	1,000以下	
	N-ヘキササン抽出物質 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
	全窒素 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
	全リン (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
	全亜鉛 (mg/L)	—	—	—	—	—	—	
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003以下	0.003以下	0.003以下	
	全シアン (mg/L)	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	
	鉛 (mg/L)	0.001	0.001	0.001	0.01以下	0.01以下	0.01以下	
	六価クロム (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下	0.05以下	0.05以下	
	砒素 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01以下	0.01以下	0.01以下	
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005以下	0.0005以下	0.0005以下	
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	
	PCB (mg/L)	不検出	—	—	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下	0.02以下	0.02以下	
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下	0.002以下	0.002以下	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004以下	0.004以下	0.004以下	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下	0.1以下	0.1以下	
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04以下	0.04以下	0.04以下	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	1以下	1以下	1以下	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006以下	0.006以下	0.006以下	
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下	0.01以下	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下	0.01以下	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下	0.002以下	0.002以下	
	チウラム (mg/L)	—	—	—	0.006以下	0.006以下	0.006以下	
	シマジン (mg/L)	—	—	—	0.003以下	0.003以下	0.003以下	
	チオベンカルブ (mg/L)	—	—	—	0.02以下	0.02以下	0.02以下	
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	0.01以下	0.01以下	
	セレン (mg/L)	—	—	—	0.01以下	0.01以下	0.01以下	
	ふっ素 (mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	0.8以下	0.8以下	0.8以下	
	ほう素 (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	1以下	1以下	1以下	
	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	—	—	0.05以下	0.05以下	0.05以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	4.4	3.5	5.2	10以下	10以下	10以下		

注1) 環境基準類型は表6.2-22(1)を参照。

注2) 表中の値のBODは年間75%値、全シアンは最高値、その他は年平均値を示している。

注3) 表中の■は、環境基準を超過していることを示している。

注4) 表中の「—」は調査を行っていない、または環境基準類型が設定されていないことを示している。

出典：「平成27年度公共用水域水質調査結果」（千葉市ホームページ）

対象事業実施区域及びその周辺における平成27年度の地下水質の概況調査の結果は、表6-1.12(1)～(3)に示すとおりである。

概況調査では若葉区野呂町の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素で環境基準の超過がみられるものの、その他の地点ではすべての項目が環境基準及び環境目標値に適合している。

また、要監視項目調査の結果は表6-1.13に示すとおりである。調査結果をみると、すべての項目が指針値に適合している。

なお、千葉市では汚染範囲の確認を目的として、汚染が確認された地区を対象に汚染確認調査を独自に行っている。汚染確認調査の結果は、表6-1.14に示すとおりである。調査結果をみると、有機塩素系化合物及び六価クロムにおいて環境基準を超過した井戸が確認されたものの、砒素についてはすべての地点で環境基準に適合している。

表 6-1.12(1) 地下水質調査結果（平成27年度、概況調査）

項目	地点	千葉市					環境基準	環境目標値
		若葉区						
		大広町	大宮町	貝塚町	加曾利町	更科町		
カドミウム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003以下	0.003以下
全シアン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
鉛 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
六価クロム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05以下	0.05以下
砒素 (mg/L)		0.004	0.001	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
総水銀 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.0005以下	0.0005以下
アルキル水銀 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
PCB (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
ジクロロメタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02以下	0.02以下
四塩化炭素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
塩化ビニルモノマー (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
1,2-ジクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.004以下	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.1以下	0.1以下
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.04以下	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1以下	1以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006以下	0.006以下
トリクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
テトラクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
チウラム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006以下	0.006以下
シマジン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003以下	0.003以下
チオベンカルブ (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02以下	0.02以下
ベンゼン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
セレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.15	1.9	9.8	1.4	不検出	10以下	10以下
ふっ素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.8以下	0.8以下
ほう素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1以下	1以下
1,4-ジオキサン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05以下	0.05以下

注1) 表中の は、環境基準を超過していることを示している。

注2) 表中の「-」は調査を行っていないことを示している。

注3) 項目の名称は調査実施年度である平成27年度時点の名称を用いている。なお、地下水の水質汚濁に係る環境基準については、平成28年3月29日付けの環境省告示第31号において、「塩化ビニルモノマー」の名称が「クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）」に変更されている。

出典：「平成27年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（千葉県ホームページ）

表 6-1.12(2) 地下水質調査結果（平成 27 年度、概況調査）

項目	地点	千葉市					環境基準	環境目標値
		若葉区		中央区		緑区		
		下泉町	野呂町	赤井町	都町 2 丁目	高田町		
カドミウム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003以下	0.003以下
全シアン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
鉛 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	0.01以下	0.01以下
六価クロム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05以下	0.05以下
砒素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	0.002	0.002	0.01以下	0.01以下
総水銀 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.0005以下	0.0005以下
アルキル水銀 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
PCB (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
ジクロロメタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02以下	0.02以下
四塩化炭素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
塩化ビニルモノマー (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
1,2-ジクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.004以下	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.1以下	0.1以下
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.04以下	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1以下	1以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006以下	0.006以下
トリクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
テトラクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
チウラム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006以下	0.006以下
シマジン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003以下	0.003以下
チオベンカルブ (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02以下	0.02以下
ベンゼン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
セレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	0.001	不検出	0.01以下	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.16	15	3	8.9	4.4	10以下	10以下
ふっ素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.8以下	0.8以下
ほう素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1以下	1以下
1,4-ジオキサン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05以下	0.05以下

注1) 表中の は、環境基準を超過していることを示している。

注2) 表中の「-」は調査を行っていないことを示している。

注3) 項目の名称は調査実施年度である平成27年度時点の名称を用いている。なお、地下水の水質汚濁に係る環境基準については、平成28年3月29日付けの環境省告示第31号において、「塩化ビニルモノマー」の名称が「クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）」に変更されている。

出典：「平成27年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（千葉県ホームページ）

表 6-1. 12(3) 地下水質調査結果（平成 27 年度、概況調査）

項目	地点	千葉市		四街道市		八街市	環境基準	環境目標値
		緑区		和田	和田	沖		
		平山町	市場町					
カドミウム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003以下	0.003以下
全シアン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
鉛 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
六価クロム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05以下	0.05以下
砒素 (mg/L)		不検出	不検出	0.002	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
総水銀 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.0005以下	0.0005以下
アルキル水銀 (mg/L)		不検出	不検出	—	—	—	検出されないこと	検出されないこと
PCB (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	検出されないこと
ジクロロメタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02以下	0.02以下
四塩化炭素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
塩化ビニルモノマー (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
1,2-ジクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.004以下	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.1以下	0.1以下
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.04以下	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1以下	1以下
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006以下	0.006以下
トリクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
テトラクロロエチレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.002以下	0.002以下
チウラム (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.006以下	0.006以下
シマジン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.003以下	0.003以下
チオベンカルブ (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.02以下	0.02以下
ベンゼン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
セレン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01以下	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		2.6	不検出	不検出	不検出	8.8	10以下	10以下
ふっ素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.8以下	0.8以下
ほう素 (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1以下	1以下
1,4-ジオキサン (mg/L)		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.05以下	0.05以下

注1) 表中の は、環境基準を超過していることを示している。

注2) 表中の「—」は調査を行っていないことを示している。

注3) 項目の名称は調査実施年度である平成27年度時点の名称を用いている。なお、地下水の水質汚濁に係る環境基準については、平成28年3月29日付けの環境省告示第31号において、「塩化ビニルモノマー」の名称が「クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）」に変更されている。

出典：「平成27年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（千葉県ホームページ）

表6-1.13 地下水質調査結果（平成27年度、要監視項目調査）

項目	地点	千葉県	
		若葉区	指針値
		加曽利町	
クロロホルム (mg/L)	—	0.06以下	
1,2-ジクロロプロパン (mg/L)	—	0.06以下	
p-ジクロロベンゼン (mg/L)	—	0.2以下	
イソキサチオン (mg/L)	—	0.008以下	
ダイアジノン (mg/L)	—	0.005以下	
フェニトロチオン (mg/L)	—	0.003以下	
イソプロチオラン (mg/L)	—	0.04以下	
オキシシン銅 (mg/L)	—	0.04以下	
クロロタロニル (mg/L)	—	0.05以下	
プロピサミド (mg/L)	—	0.008以下	
EPN (mg/L)	不検出	0.006以下	
ジクロロボス (mg/L)	—	0.008以下	
フェノブカルブ (mg/L)	—	0.03以下	
イプロベンホス (mg/L)	—	0.008以下	
クロルニトルフェン (mg/L)	—	—	
トルエン (mg/L)	—	0.6以下	
キシレン (mg/L)	—	0.4以下	
フタル酸ジエチルヘキシル (mg/L)	—	0.06以下	
ニッケル (mg/L)	0.001	—	
モリブデン (mg/L)	—	0.07以下	
アンチモン (mg/L)	不検出	0.02以下	
エピクロロヒドリン (mg/L)	不検出	0.0004以下	
全マンガン (mg/L)	不検出	0.2以下	
ウラン (mg/L)	0.001	0.002以下	

注) 表中の「—」は調査を行っていない又は指針値が設定されていないことを示している。
 出典：「平成27年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（千葉県ホームページ）

表6-1.14 地下水質調査結果（平成27年度、汚染確認調査（千葉県独自））

調査項目	調査地区	調査本数	基準超過本数 (測定地点)	環境基準
有機塩素系化合物	稲毛区	9	2 (稲毛区長沼原町)	—注)
六価クロム	中央区	250	19 (中央区生実町)	0.05mg/L 以下
砒素	稲毛区	8	0	0.01mg/L 以下

注) 有機塩素系化合物に属する複数の物質を対象に調査を行っており、物質ごとの情報を公表していないため、環境基準を記載していない。
 出典：「平成27年度地下水水質調査結果」（千葉県ホームページ）

また、対象事業実施区域及びその周辺の水質のダイオキシン類については、対象事業実施区域から半径約6kmの範囲に調査地点が存在しないことから、最寄りの調査地点である鹿島川の岩富橋（対象事業実施区域の北東約8.5km）の測定結果を用いて把握した。過去5年間における測定結果は表6-1.15に、測定地点は図6-1.10に示すとおりである。

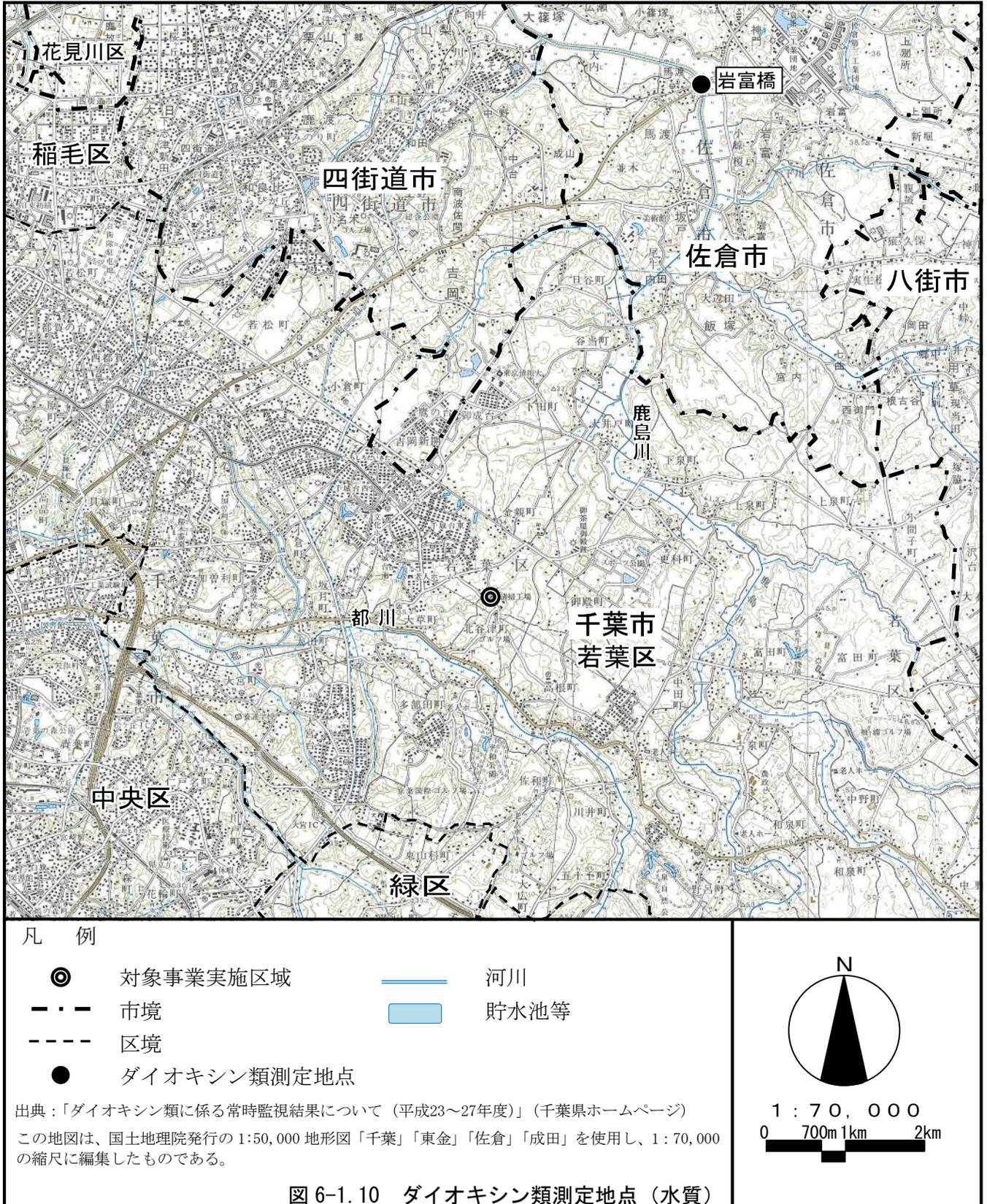
平成27年度の測定結果は0.23pg-TEQ/Lとなっており、環境基準（年平均値が1pg-TEQ/L以下）に適合している。また、平成23～27年度の年平均値は0.13～0.27pg-TEQ/Lであり、すべての年度で環境基準に適合している。

表6-1.15 ダイオキシン類の測定結果（水質）

単位：pg-TEQ/L

区分	水域名	地点名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	環境基準
河川	鹿島川	岩富橋	0.13	0.14	0.27	0.27	0.23	1以下

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成23～27年度）」（千葉県ホームページ）



6-1-4 水象の状況

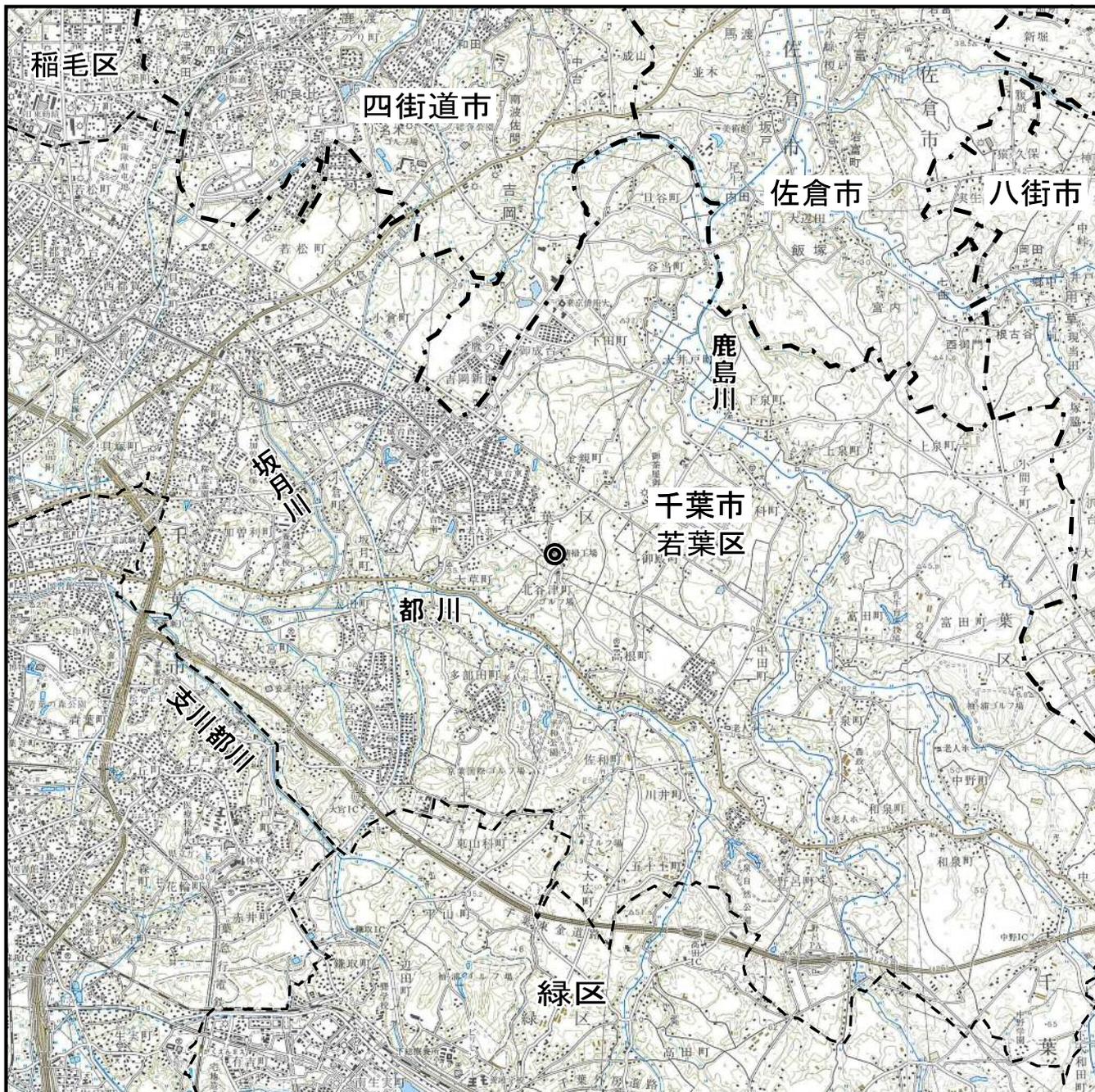
対象事業実施区域及びその周辺の主要な河川は表6-1.16に、河川等の状況は図6-1.11に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周辺の主要な河川としては、対象事業実施区域東側に鹿島川が流れており、印旛沼に流入している。また、西側を流れる支川都川、坂月川は都川に合流している。

表6-1.16 主要な河川

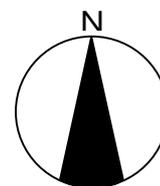
種別	水系名	河川名	市内流路延長 (m)	流域面積 (km ²)
一級河川	利根川	鹿島川	2,000	251.90
二級河川	都川	都川	13,051	71.65
		支川都川	6,550	△12.64 ^{注)}
		坂月川	3,100	△8.02 ^{注)}

注) △を付した流域面積は、都川の流域面積に含まれることを示している。
出典：「千葉市統計書（平成28年度版）」（平成29年3月 千葉市）



凡 例

- | | | | |
|---------|----------|---|------|
| ◎ | 対象事業実施区域 | — | 河川 |
| - · - · | 市境 | ■ | 貯水池等 |
| - - - - | 区境 | | |



1 : 70, 000
0 700m 1km 2km

出典：「千葉市統計書（平成28年度版）」（平成29年3月 千葉市）

この地図は、国土地理院発行の1:50,000地形図「千葉」「東金」を使用し、1:70,000の縮尺に編集したものである。

図6-1.11 水象の状況

6-1-5 水底の底質の状況

対象事業実施区域及びその周辺では、水底の底質の調査は実施されていない。

また、対象事業実施区域及びその周辺の底質のダイオキシン類について、対象事業実施区域から半径約6kmの範囲に調査地点が存在しないことから、最寄りの調査地点である鹿島川の岩富橋（対象事業実施区域の北東約8.5km）の測定結果を用いて把握した。過去5年間における測定結果は表6-1.17に、測定地点は図6-1.12に示すとおりである。

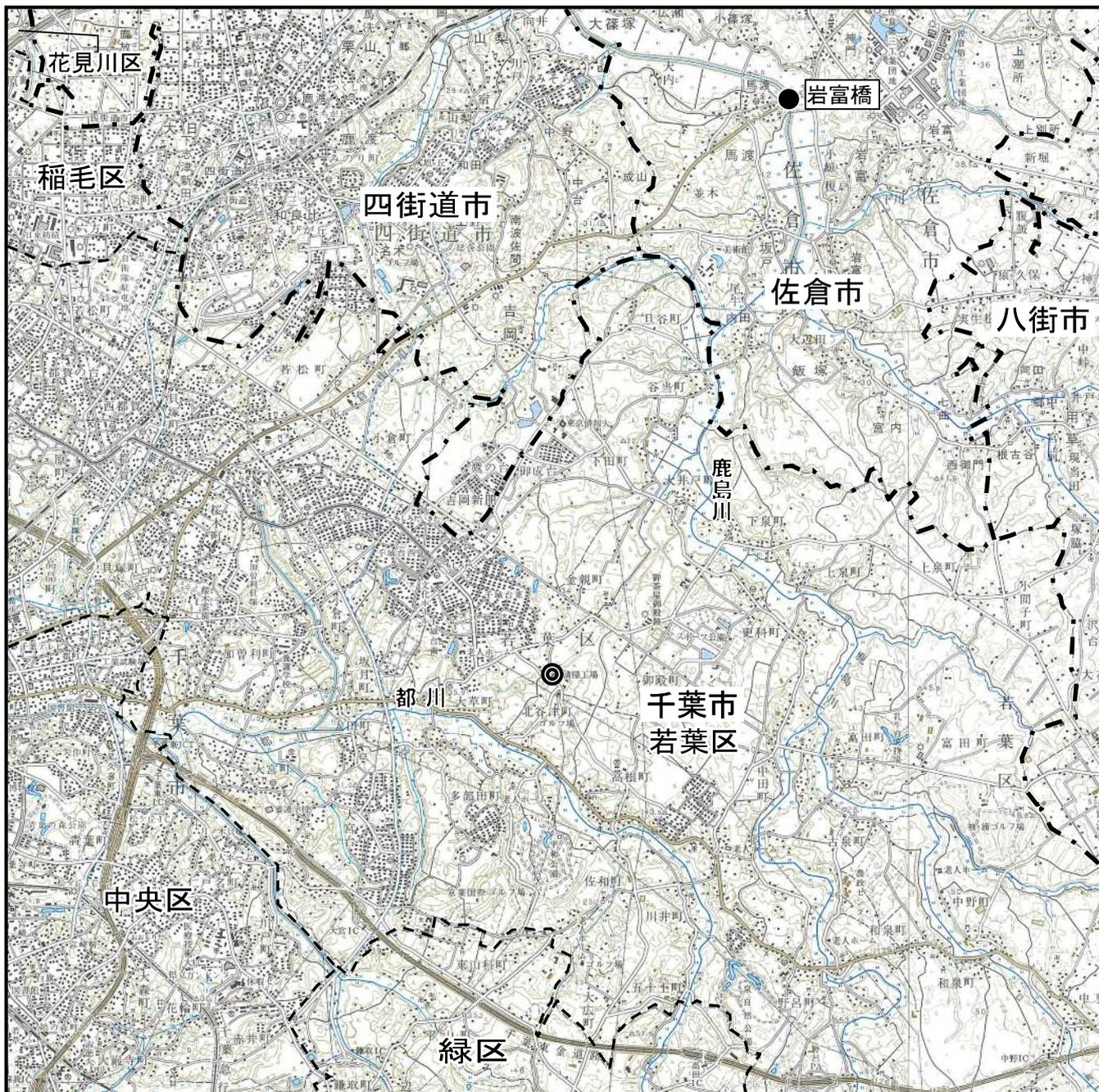
平成27年度の測定結果は、0.76pg-TEQ/gとなっており、環境基準（150pg-TEQ/g以下）に適合している。また、平成23～27年度の年平均値は0.16～0.76pg-TEQ/gであり、すべての年度で環境基準に適合している。

表6-1.17 ダイオキシン類の測定結果（底質）

単位：pg-TEQ/g

区分	水域名	地点名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	環境基準
河川	鹿島川	岩富橋	0.42	0.47	0.44	0.16	0.76	150以下

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成23～27年度）」（千葉県ホームページ）



凡 例

-
-
-
-

対象事業実施区域
 市境
 区境
 ダイオキシン類測定地点
 河川
 貯水池等

出典：「ダイオキシン類に係る常時監視結果について（平成23～27年度）」（千葉県ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の1:50,000地形図「千葉」「東金」「佐倉」「成田」を使用し、1:70,000の縮尺に編集したものである。

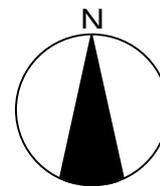


図 6-1.12 ダイオキシン類測定地点（底質）

6-1-6 騒音及び低周波音の状況

対象事業実施区域及びその周辺における一般環境騒音の調査結果は表6-1. 18に、調査地点は図6-1. 13に示すとおりである。調査結果をみると、すべての地点において環境基準（目標値）を達成している。

表6-1. 18 一般環境騒音調査結果（平成27年度）

単位：デシベル

調査地点名	所在地	地域 類型 ^{注1)}	測定結果		環境基準（目標値）	
			昼間 ^{注2)}	夜間 ^{注2)}	昼間 ^{注2)}	夜間 ^{注3)}
木戸公園	千葉県若葉区 大宮台3丁目11	A	42	37	55	45
御成台 三丁目公園	千葉県若葉区 御成台3丁目19-12	A	41	37		
高根児童公園	千葉県若葉区 中田町1195-20	B	44	36		
仁戸名遊園地 第三公園	千葉県中央区 仁戸名町101-5	A	47	44		

注1) 地域類型は表6-2. 30(1)を参照。

注2) 昼間の時間区分は6:00～22:00、夜間の時間区分は22:00～6:00である。

出典：「平成28年版千葉県環境白書」（平成28年12月 千葉県）

また、対象事業実施区域及びその周辺では、道路交通騒音について、住宅の立地状況を考慮した面的評価に係る調査が行われている。

面的評価の調査結果は表6-1. 19(1)～(2)に、対象区間は図6-1. 13に示すとおりである。調査結果をみると、「道路に面する地域の騒音に係る環境基準」において、昼間・夜間とも基準値以下の割合が45.7～100%となっている。

なお、対象事業実施区域及びその周辺において低周波音の調査は行われていない。

表6-1.19(1) 道路交通騒音調査結果（面的評価、平成27年度）

地点 番号	道路名	観測地点の住所	評価区間の住所	等価騒音レベル (デシベル)		評価 区間 の延 長 (km)	昼間・ 夜間とも 基準値以下 (%)	昼間のみ 基準値以下 (%)	夜間のみ 基準値以下 (%)	昼間・ 夜間とも 基準値超過 (%)
				昼間 ^{注)}	夜間 ^{注)}					
1	一般国道16号	千葉市若葉区高品町	千葉市若葉区高品町 } 千葉市若葉区高品町	58	55	0.3	100	0.0	0.0	0.0
2	一般国道16号	千葉市若葉区貝塚町	千葉市若葉区高品町 } 千葉市若葉区貝塚町	69	69	0.5	68.0	32.0	0.0	0.0
3	一般国道16号	千葉市中央区都町	千葉市中央区都町 } 千葉市若葉区加曽利町	72	70	0.5	45.7	13.2	0.0	41.0
4	一般国道16号	千葉市若葉区加曽利町	千葉市若葉区加曽利町 } 千葉市若葉区加曽利町	57	53	0.4	100	0.0	0.0	0.0
5	一般国道16号	千葉市中央区星久喜町	千葉市中央区星久喜町 } 千葉市中央区星久喜町	59	58	1.1	100	0.0	0.0	0.0
6	一般国道16号	千葉市中央区松ヶ丘町	千葉市中央区松ヶ丘町 } 千葉市中央区宮崎町	55	51	0.5	91.5	0.9	0.0	7.7
7	一般国道16号	千葉市中央区宮崎町	千葉市中央区宮崎町 } 千葉市中央区宮崎町	59	55	0.4	86.8	0.0	0.9	12.3
8	一般国道16号	千葉市中央区大森町	千葉市中央区宮崎町 } 千葉市中央区大森町	54	50	0.8	86.6	1.5	0.0	11.9
9	一般国道16号	千葉市中央区今井町	千葉市中央区大森町 } 千葉市中央区今井町	55	51	0.8	89.1	2.7	0.0	8.2
10	一般国道16号	千葉市中央区今井町	千葉市中央区今井町 } 千葉市中央区蘇我5丁目	58	55	0.5	79.9	0.7	0.7	18.8
11	一般国道16号	千葉市中央区 蘇我町2丁目	千葉市中央区蘇我5丁目 } 千葉市中央区生実町	56	51	0.7	85.1	0.0	0.0	14.9
12	一般国道16号	千葉市中央区南生実町	千葉市中央区浜野町 } 千葉市中央区浜野町	55	52	0.7	95.8	2.5	0.0	1.7
13	一般国道51号	千葉市中央区 都町1丁目	千葉市中央区本町1丁目 } 千葉市中央区都町	69	64	2.3	98.6	1.1	0.0	0.3

注) 昼間の時間区分は6:00~22:00、夜間の時間区分は22:00~6:00である。

出典:「平成28年版環境白書」(平成29年3月 千葉県)

表 6-1. 19(2) 道路交通騒音調査結果（面的評価、平成 27 年度）

地点 番号	道路名	観測地点の住所	評価区間の住所	等価騒音レベル (デシベル)		評価 区間 の延 長 (km)	昼 間・ 夜 間 と も (%)	昼 間 の み 基 準 値 以 下 (%)	夜 間 の み 基 準 値 以 下 (%)	昼 間・ 夜 間 と も 基 準 値 超 過 (%)
				昼間 ^{注)}	夜間 ^{注)}					
14	一般国道51号	千葉市若葉区 桜木5丁目	千葉市中央区都町 ） 千葉市若葉区 桜木北1丁目	68	66	2.2	83.0	16.8	0.0	0.2
15	一般国道51号	千葉市若葉区 桜木6丁目	千葉市若葉区貝塚町 ） 千葉市若葉区 桜木北2丁目	73	71	1.7	75.2	11.9	0.0	12.8
16	一般国道51号	千葉市若葉区 若松町	千葉市若葉区 桜木北1丁目 ） 千葉市若葉区若松町	69	66	2.3	100	0.0	0.0	0.0
17	一般国道126号	千葉市中央区都町 2丁目	千葉市若葉区加曾利町 ） 千葉市中央区中央2丁目	70	68	2.6	76.4	22.9	0.4	0.2
18	主要地方道 千葉大網線	千葉市中央区 仁戸名町	千葉市中央区松ヶ丘町 ） 千葉市緑区鎌取町	70	68	4.3	87.1	11.8	0.0	1.1
19	一般県道 岩富山田台線	千葉市若葉区 小間子町	千葉市若葉区小間子町 ） 千葉市若葉区小間子町	70	66	2.4	93.8	0.0	0.0	6.3
20	一般国道51号	佐倉市馬渡	佐倉市坂戸 ） 佐倉市長熊	72	71	8	57.5	35.0	0.0	7.5
21	岩富山田台線	佐倉市宮内	佐倉市岩富町 ） 佐倉市西御門	61	51	3.5	100	0.0	0.0	0.0
22	一般国道51号	四街道市吉岡613-45	四街道市南波佐間 ） 四街道市成山	73	73	2.4	56.8	40.5	0.0	2.7
23	浜野四街道 長沼線(2)	四街道市下志津新田	四街道市四街道 ） 四街道市下志津新田	67	65	0.7	100	0.0	0.0	0.0

注) 昼間の時間区分は6:00~22:00、夜間の時間区分は22:00~6:00である。

出典:「平成28年版環境白書」(平成29年3月 千葉県)

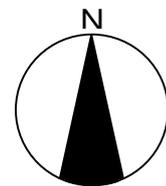


凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- · - 市境
- - - 区境
- 一般環境騒音調査地点
- | | 面的評価対象区間

出典：「平成28年版環境白書」（平成29年 3月 千葉県）
 「平成28年版千葉市環境白書」（平成28年12月 千葉市）

この地図は、国土地理院発行の1:50,000地形図「千葉」「東金」を使用し、1:70,000の縮尺に編集したものである。



1 : 70,000
 0 700m 1km 2km

図 6-1.13 騒音調査地点

6-1-7 振動の状況

対象事業実施区域及びその周辺における道路交通振動の調査結果は表6-1.20に、調査地点は図6-1.14に示すとおりである。

調査結果をみると、いずれの地点も要請限度以下の値となっている。

なお、対象事業実施区域及びその周辺では、環境振動の調査は実施されていない。

表6-1.20 道路交通振動調査結果（80%レンジ上端値、平成27年度）

地点 番号	道路名	調査地点	区域の 区分 ^{注1)}	振動レベル (デシベル)		要請限度 判定 ^{注3)}	要請限度値 (デシベル)	
				昼間 ^{注2)}	夜間 ^{注2)}		昼間 ^{注2)}	夜間 ^{注2)}
1	一般国道16号 (京葉道路)	千葉市若葉区加曾利町	1	47	43	○	65	60
2	一般国道51号	千葉市若葉区若松町	1	50	48	○	65	60
3	主要地方道 千葉大網線	千葉市中央区仁戸名町	1	52	49	○	65	60
4	一般国道126号	千葉市中央区都町2丁目	2	41	35	○	70	65
5	源町大森町線	千葉市若葉区みつわ台 3-14-20	1	47	42	○	65	60
6	岩富山田台線	佐倉市宮内	—	25	16	○ ^{注4)}	—	—

注1) “1”は第一種区域、“2”は第二種区域区域を示しており、区域の区分は表6-2.35を参照。

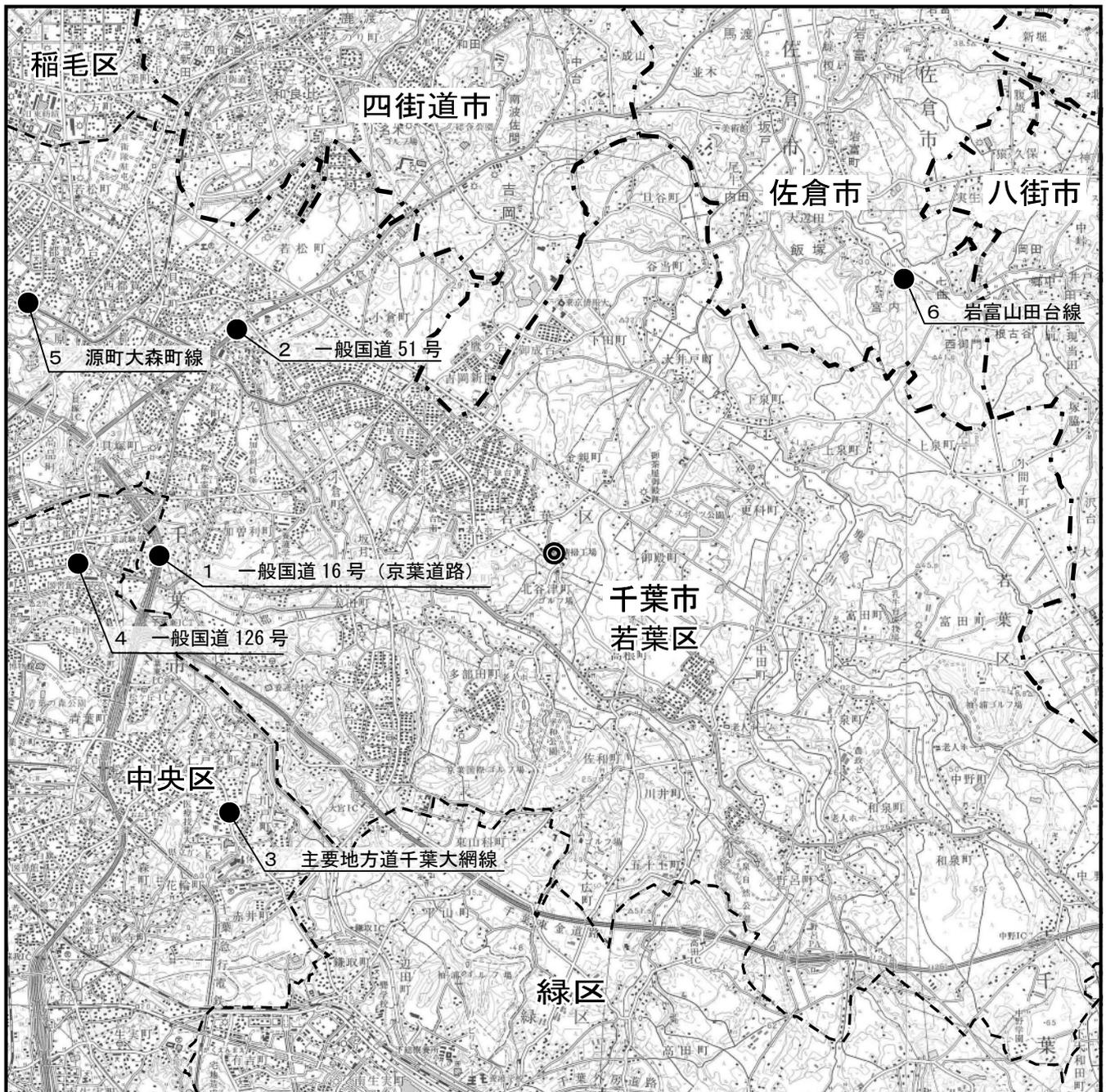
注2) 昼間の時間区分は8:00~19:00、夜間の時間区分は19:00~8:00である。

注3) ○は要請限度以下であることを示している。

注4) 測定地点は、振動規制法に基づく道路交通振動の要請限度は適用されないが、参考として第2種区域の要請限度（昼間70デシベル、夜間65デシベル）と比較し、要請限度判定を行っている。

出典：「平成28年版環境白書」（平成29年3月 千葉県）

「平成28年版千葉市環境白書」（平成28年12月 千葉市）



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- · - 市境
- - - 区境
- 道路交通振動調査地点

出典：「平成28年版環境白書」（平成29年3月 千葉県）
 「平成28年版千葉市環境白書」（平成28年12月 千葉市）

この地図は、国土地理院発行の1:50,000地形図「千葉」「東金」を使用し、1:70,000の縮尺に編集したものである。

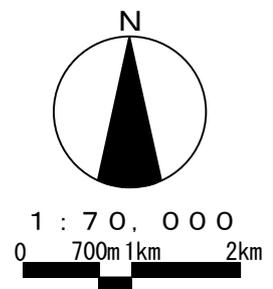


図 6-1.14 道路交通振動調査地点

6-1-8 悪臭の状況

対象事業実施区域及びその周辺では、悪臭の調査は実施されていない。

6-1-9 地形及び地質等の状況

1. 地形

対象事業実施区域及びその周辺の地形は、図6-1. 15に示すとおりである。

対象事業実施区域内は、上位砂礫台地となっており、対象事業実施区域の周辺は、主に上位砂礫台地及び切地・改良地となっている。鹿島川や都川などの河川沿いには、河谷に沿うように谷底平野が分布し、台地中に谷地田として入る地形となっている。

また、分水界の位置は図 6-1. 15 に示すとおりであり、対象事業実施区域南側に隣接する市道北谷津町 4 号線付近を谷津頭とする谷が北方向及び南方向に開析しており、鹿島川水系（北方向）と都川水系（南方向）に分かれている。なお、対象事業実施区域は鹿島川水系に含まれる。

2. 地質

対象事業実施区域及びその周辺の表層地質図は、図6-1. 16に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周辺は、大部分が火山性岩石（ローム）となっており、鹿島川、都川、支川都川、坂月川等の河川に沿って泥がち堆積物、砂がち堆積物がみられる。

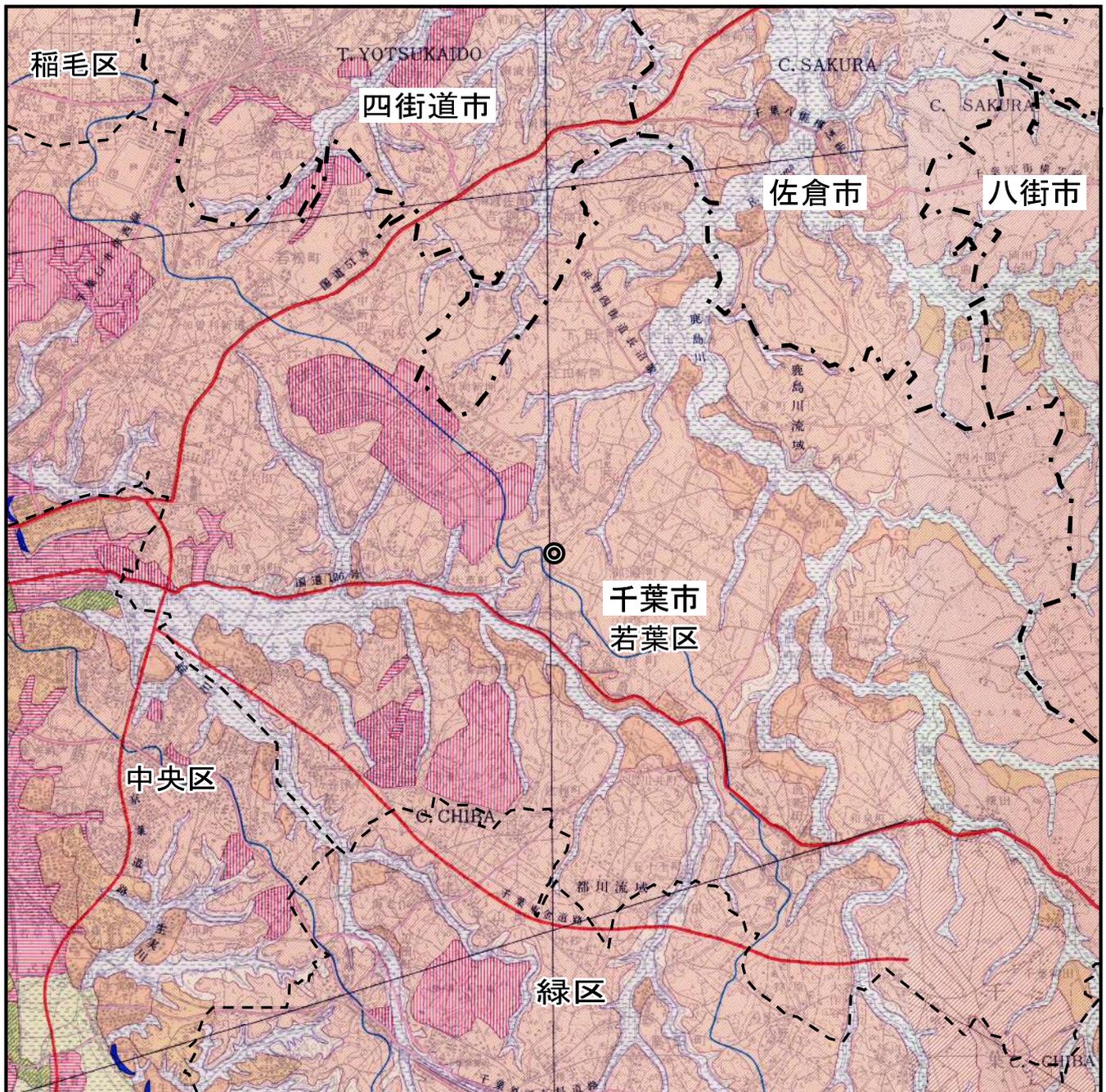
3. 湧水

対象事業実施区域及びその周辺の主要な湧水としては、表6-1. 21に示すとおり銘湧水が3地点存在する。

表6-1. 21 主要な銘湧水

湧水の名称	湧水の所在地	概要
都川白鷺橋付近自噴井	千葉市中央区 星久喜町	当該自噴井は千葉市で最大の湧出量（170～240 t/日）で水質も良好である。都川と支川都川の合流地点の白鷺橋のたもとにあり、平蓋自立型で横一文字の湧出口から地下水がほとぼしっている。
姫池湧泉 (谷地斜面据湧水穴型)	千葉市若葉区 北谷津町	金光院谷地最上流に位置する。水量70 t/日ほどであるが、NO ₃ 濃度が高い。
野呂清水不動尊 (谷地斜面木の根型)	千葉市若葉区 野呂町	不動尊入口左に位置する。水量20 t/日ほどであり、NO ₃ 濃度も低いが、電気伝導度が高いため、相当数の各種無機イオンが溶存していると思われる。

出典：「千葉県の自然誌 本編2：千葉県の大い」(平成9年3月 千葉県)



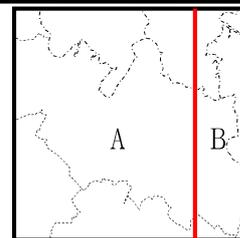
凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- · - 市境
- - - 区境

注) 図中のA、Bブロックでは凡例が異なるため、それぞれのブロックにおける凡例を示す。

出典：「土地分類基本調査図（地形分類図）（千葉）」
 (昭和54年6月 千葉県)
 「土地分類基本調査図（地形分類図）（東金・木戸）」
 (昭和52年7月 千葉県)

台地	
A	B
低地	
人工地形	
その他	



色凡例区分

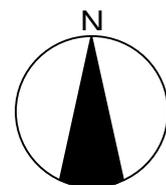
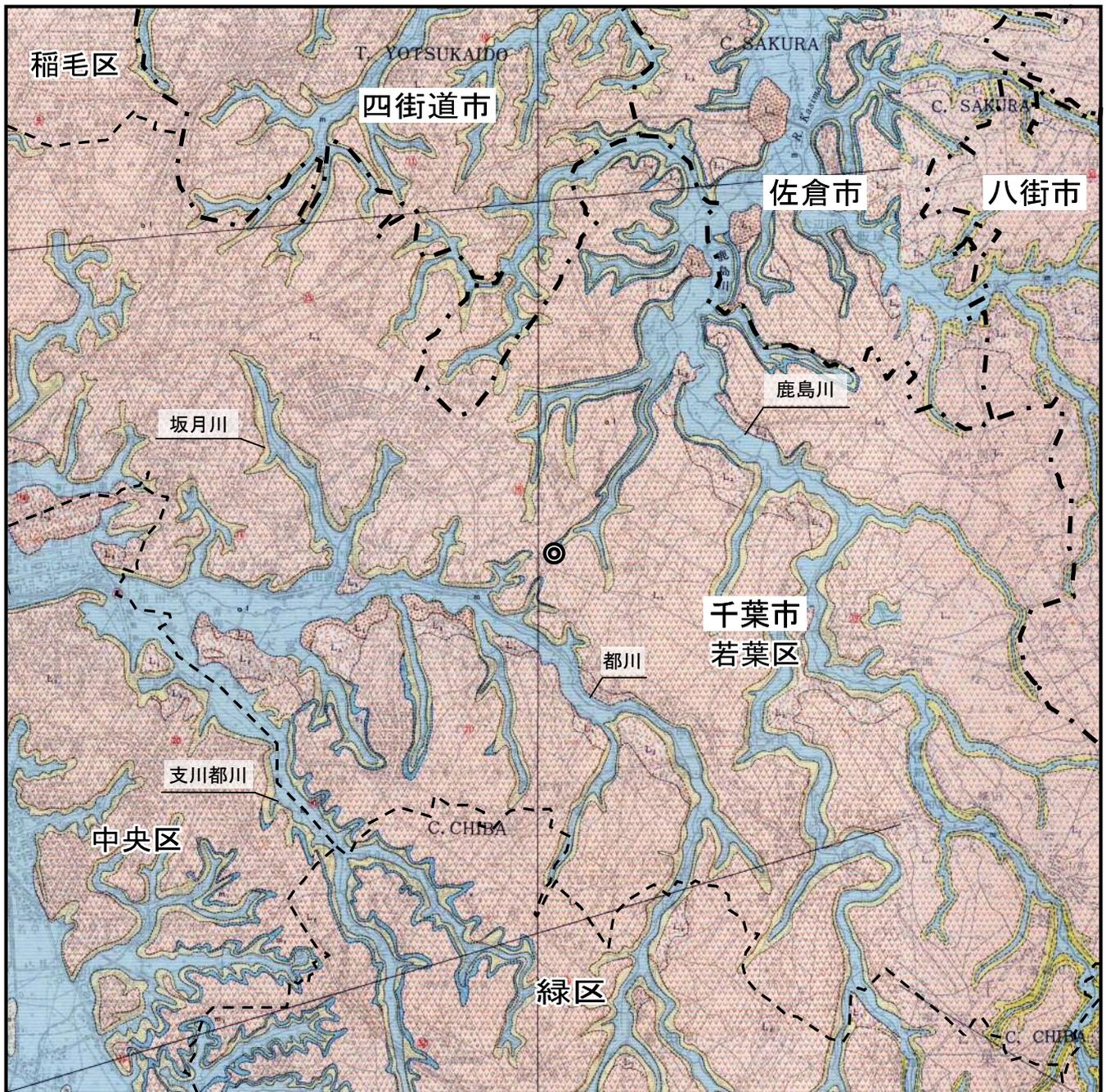


図 6-1.15 地形分類図



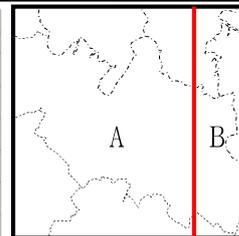
凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- · - 市境
- - - 区境

注) 図中のA、Bブロックでは凡例が異なるため、それぞれのブロックにおける凡例を示す。

出典：「土地分類基本調査図（表層地質図）（千葉）」
 (昭和54年6月 千葉県)
 「土地分類基本調査図（表層地質図）（東金・木戸）」
 (昭和52年7月 千葉県)

未固結堆積物		
A	B	
m	m	泥がち堆積物
s	s	砂がち堆積物
m1	m1	泥 1
s1	s1	砂 1
s2	s2	砂 2
s3	-	砂 3
s4	-	砂 4
re	-	埋立堆積物
半固結堆積物		
-	s3	砂 3
-	ss1	泥質砂岩 1
火山性岩石		
L1	L1	ローム 1
L2	L2	ローム 2
L3	L3	ローム 3



色凡例区分

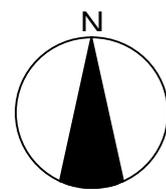


図 6-1.16 表層地質図

6-1-10 地盤の状況

対象事業実施区域及びその周辺の水準点における、平成23～27年の地盤変動の状況は、表6-1.22(1)～(3)に示すとおりである。また、水準点の位置は、図6-1.17に示すとおりである。

対象事業実施区域の位置する北谷津町には、水準点は存在しない。

周辺の水準点の変動量は、東北地方太平洋沖地震の影響により、平成23年1月～平成23年度観測日（平成23年11月～平成24年3月）に-57.3～-43.2mmとなっている。

なお、それ以降では、いずれの年も環境省が地盤沈下の注意が必要となる目安としている年間沈下量20mm以上沈下した地域はない。

表6-1.22(1) 水準点の変動状況

標石 番号	所在地	変動量 (mm)				
		平成23年1月 ～ 平成23年度 観測日 ^{注1)}	平成24年1月 ～ 平成25年1月	平成25年1月 ～ 平成26年1月	平成26年1月 ～ 平成27年1月 ^{注2)}	平成27年1月 ～ 平成28年1月
35-278-002	千葉市若葉区佐和町 148	-47.7	+3.2	+2.1	-5.4	-4.3
35-278-003	千葉市若葉区中田町 1129	-48.5	+4.3	+0.3	-6.5	-4.2
35-278-005	千葉市若葉区和泉町 199	-51.8	+5.2	-0.3	-8.7	-4.6
原補3標石	千葉市若葉区富田町 983-1	-52.4	+1.1	-2.1	-7.0	-9.9
原補3金属標	千葉市若葉区富田町 983-1	-52.3	+1.0	-2.1	-6.8	-9.9
C-49	千葉市若葉区若松町 712	-51.2	+4.6	+2.0	—	—
C-50	千葉市若葉区若松町 485	-52.9	+4.7	+2.3	—	—
C-51 ^{注3)}	千葉市若葉区若松町 2092	-52.5	—	—	—	—
	千葉市若葉区小倉町 1763-7	—	—	+1.0	-0.7	-6.3
C-52	千葉市若葉区桜木町 44 ^{注4)}	-50.4	+6.8	+1.7	+0.1	-6.8
C-53	千葉市若葉区若松町 983-113	-51.8	+3.9	+4.5	-5.4	-2.6
C-54	千葉市若葉区小倉台五丁目 1-1	-53.3	+5.1	+2.1	-3.3	-4.8
C-55	千葉市若葉区加曾利町 680	-48.4	+6.9	+3.0	+0.9	-6.9

注1) 測量期間において平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動が一定速度であると仮定できないため、基準日補正を行っていない。

注2) 表中の「—」は未観測であることを示している。

注3) 標石番号C-51は平成24年に、千葉市若葉区若松町2092から千葉市若葉区小倉町1763-7に移設している。

注4) 若葉区桜木町は現在、若葉区桜木となっている。

出典：「千葉県水準測量成果表（平成24～28年）」（千葉県環境生活部）

「千葉市水準測量成果表（平成24～28年）」（千葉市環境局環境保全部）

表6-1. 22(2) 水準点の変動状況

標石 番号	所在地	変動量 (mm)				
		平成23年1月 ～ 平成23年度 観測日 ^{注1)}	平成24年1月 ～ 平成25年1月	平成25年1月 ～ 平成26年1月	平成26年1月 ～ 平成27年1月	平成27年1月 ～ 平成28年1月
C-60	千葉市若葉区坂月町 277	-50.6	+5.4	+2.0	—	—
C-61	千葉市若葉区多部田町 352	-49.9	+5.4	+2.5	—	—
C-62	千葉市若葉区大宮町 2077	-50.3	+3.7	+0.8	-3.1	-5.6
C-63	千葉市若葉区多部田町 1622	-52.5	+5.8	-0.5	—	—
C-64	千葉市若葉区大広町 248	-48.0	+2.7	+3.1	—	—
C-66	千葉市若葉区千城台東一丁目 15	-54.2	+4.0	+1.0	-5.9	-5.8
C-67	千葉市若葉区下田町 1098-7	-53.4	+3.6	+1.8	-6.4	-6.1
C-68	千葉市若葉区大井戸町 617-2	-54.9	+2.5	-0.1	-7.1	-10.5
C-69	千葉市若葉区更科町 2073	-53.6	+1.2	-0.7	-7.7	-8.8
C-70	千葉市若葉区御殿町 3	-51.3	+3.4	+1.3	-5.8	-7.8
C-71	千葉市若葉区中田町 860-1	-50.7	+2.6	+1.6	-5.9	-7.3
C-72	千葉市若葉区野呂町 215	-47.5	+3.7	+0.4	-7.1	-4.4
C-73	千葉市若葉区野呂町 1583	-47.5	+4.0	+2.5	—	—
C-76	千葉市若葉区中野町 1698	-47.4	+2.9	-1.6	-8.2	-4.4
富田 水位観測井	千葉市若葉区富田町 983-1	-52.4	+2.0	-2.4	-6.4	-11.2
C-2	千葉市中央区都町一丁目 51	-48.3	+5.4	-0.3	+2.6	-6.0
C-3	千葉市中央区矢作町 670	-46.0	+5.9	+0.8	+1.6	-4.9
C-27	千葉市中央区松ヶ丘町 (青葉の森公園野球場裏)	-48.8	+6.3	+3.1	—	—
C-28	千葉市中央区仁戸名町 483-6	-48.5	+7.6	+3.5	-1.4	-4.7
C-56	千葉市中央区星久喜町 334	-47.5	+7.0	+4.3	-1.7	-4.8
C-59	千葉市中央区赤井町 379	-43.4	+9.0	+3.3	-5.2	+1.7
CC-1	千葉市中央区生実町 1928	-47.0	+8.3	+2.3	-3.4	-1.3

注1) 測量期間において平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動が一定速度であると仮定できないため、基準日補正を行っていない。

注2) 表中の「—」は未観測であることを示している。

出典：「千葉県水準測量成果表（平成24～28年）」（千葉県環境生活部）

「千葉市水準測量成果表（平成24～28年）」（千葉市環境局環境保全部）

表6-1. 22(3) 水準点の変動状況

標石 番号	所在地	変動量 (mm)				
		平成23年1月 ～ 平成23年度 観測日 ^{注1)}	平成24年1月 ～ 平成25年1月	平成25年1月 ～ 平成26年1月	平成26年1月 ～ 平成27年1月 ^{注2)}	平成27年1月 ～ 平成28年1月
W-7	千葉市中央区浜野町 1335	-44.4	+8.8	+4.0	-2.0	-2.0
W-26	千葉市中央区白旗一丁目 5-3	-43.6	+7.4	+3.8	-0.8	-3.5
W-27	千葉市中央区浜野町 1335	-43.7	+7.5	+3.4	-2.8	-3.4
生実1号 A	千葉市中央区生実町 1928	-44.8	+8.3	+3.6	-1.8	-1.7
生実1号 B	千葉市中央区生実町 1928	-45.9	+8.1	+2.4	-2.1	-1.8
生実1号 C	千葉市中央区生実町 1928	-44.6	+8.2	+5.2	-0.6	-2.6
生実1号 D	千葉市中央区生実町 1928	-44.3	+8.5	+4.8	-0.8	-2.3
10688	千葉市緑区鎌取町 112-80	-43.2	+5.7	-0.6	-5.1	+0.4
35-278- 001	千葉市緑区平山町 733 地先	-45.9	+5.3	+3.0	-1.9	-4.9
C-29	千葉市緑区鎌取町 273 地先	-44.8	+6.6	+4.8	-6.5	-0.1
C-65	千葉市緑区平山町 1048	-45.5	+3.2	+3.4	—	—
SK-6	佐倉市岩富町 540	-57.3	-4.7	-5.7	<i>+1.3</i>	-16.0
SK-7	佐倉市坂戸 846-5	-55.7	+0.3	-1.7	<i>+1.0</i>	-9.5
Yo-1	四街道市四街道 1577	-55.4	+2.9	+0.9	<i>-1.0</i>	-1.8
Yo-3	四街道市和良比 728-1	-52.1	+3.3	+4.5	<i>-1.6</i>	-1.4
Yo-6	四街道市小名木 77-3	-53.1	+1.6	+1.3	<i>+2.1</i>	-2.9
Yo-7	四街道市吉岡 477	-56.4	+4.2	-0.5	<i>+4.4</i>	-9.1
Yo-8	四街道市吉岡 1219-3	-56.0	+4.3	-0.8	<i>+3.2</i>	-10.2
Yo-16	四街道市南波佐間 267	-55.2	+2.2	+2.4	<i>+1.0</i>	-2.7

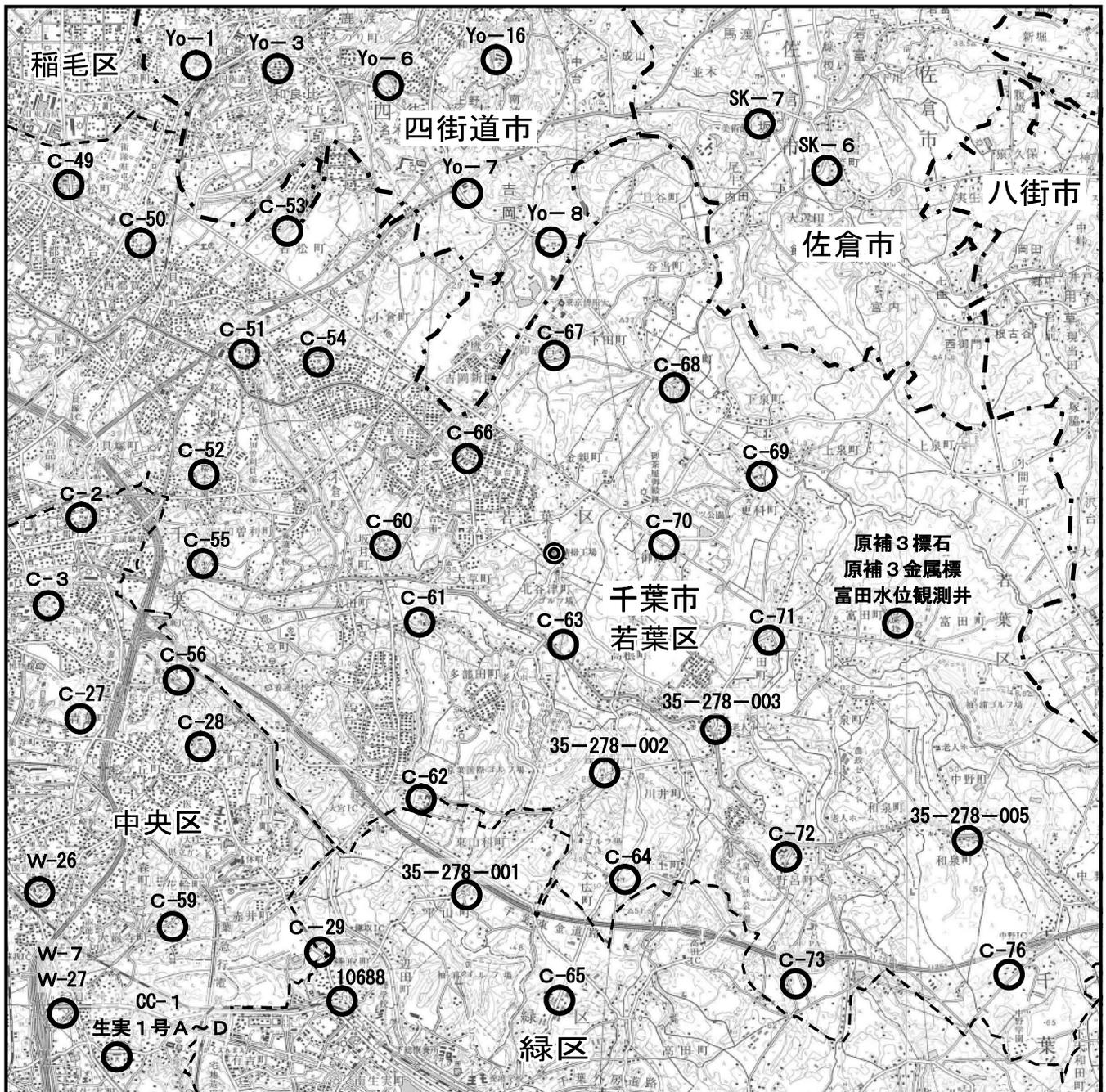
注1) 測量期間において平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動が一定速度であると仮定できないため、基準日補正を行っていない。

注2) 固定点の標高の点検により固定水準点(千葉-1)の標高が改定されており、斜体で示した変動量は改定後の標高を用いて算出している。

注3) 表中の「—」は未観測であることを示している。

出典:「千葉県水準測量成果表(平成24～28年)」(千葉県環境生活部)

「千葉市水準測量成果表(平成24～28年)」(千葉市環境局環境保全部)



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- - - 市境
- - - 区境
- 水準点位置

出典：「千葉県水準測量成果表（平成 24～28 年）」（千葉県環境生活部）
「千葉市水準測量成果表（平成 24～28 年）」（千葉市環境局環境保全部）

この地図は、国土地理院発行の 1:50,000 地形図「千葉」「東金」を使用し、1:70,000 の縮尺に編集したものである。

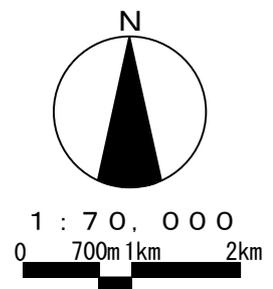


図 6-1.17 水準点位置図

6-1-11 土壌の状況

1. 土壌

対象事業実施区域及びその周辺の土壌図は、図6-1. 18に示すとおりである。

対象事業実施区域は、地形分類図（図6-1. 15参照）に示すとおり台地となっており、土壌は八街統の黒ボク土壌となっている。対象事業実施区域周辺は、主に八街統の黒ボク土壌となっており、鹿島川や都川等の川沿いの低地は、黒部統や下総統などグライ土壌となっている。

2. 土壌汚染

対象事業実施区域近傍には、土壌汚染対策法に基づく指定区域は存在しない（平成29年7月14日現在）。

また、平成23～27年度において、対象事業実施区域及びその周辺で実施されたダイオキシン類の調査結果は表6-1. 23に、調査地点は図6-1. 19に示すとおりである。すべての年度において、環境基準（1,000pg-TEQ/g以下）を下回っている。

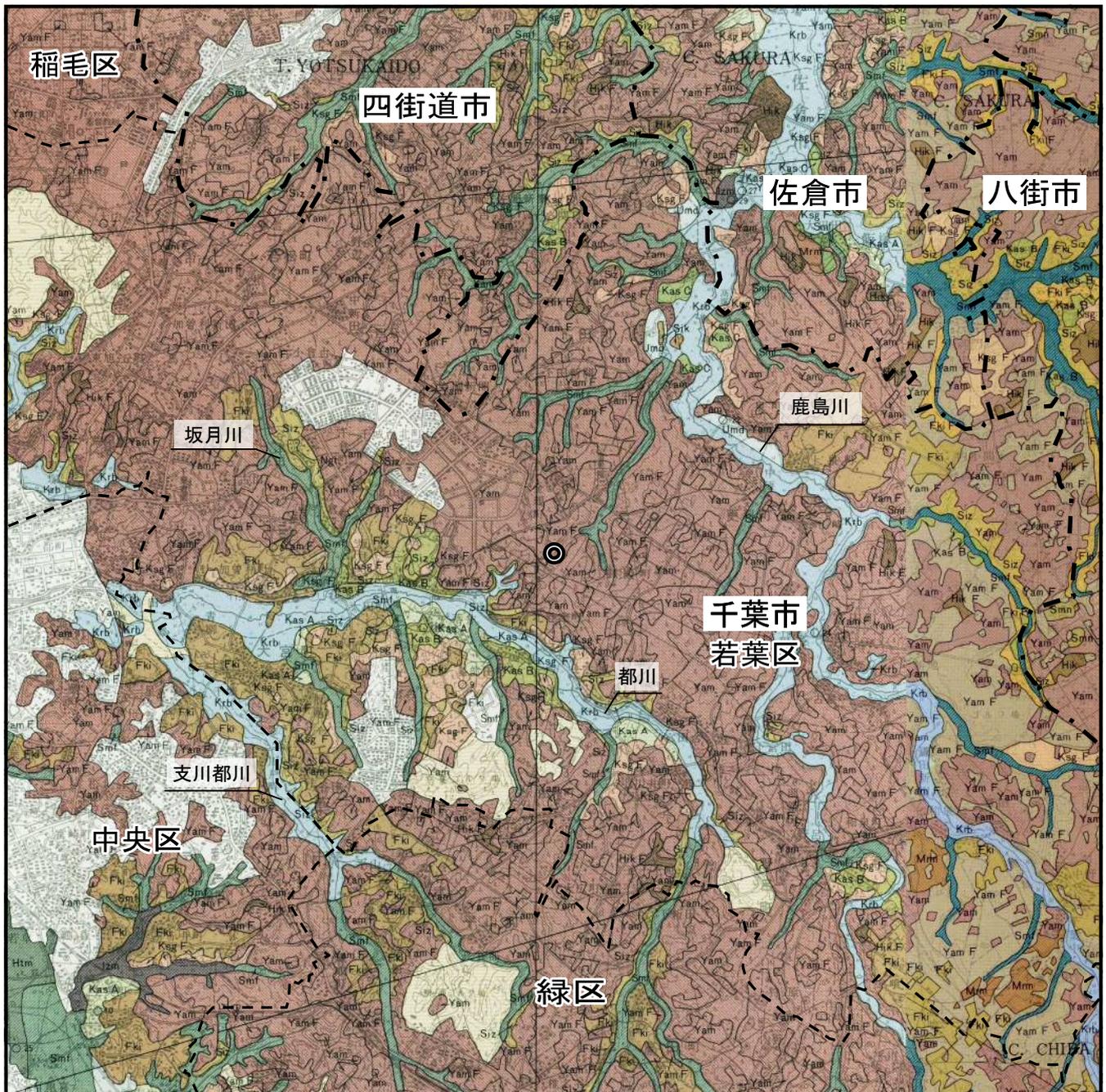
表6-1. 23 ダイオキシン類調査結果（土壌）

単位：pg-TEQ/g

市区名	番号	調査地点	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	環境基準
千葉市	1	更科	—	—	—	—	0.26	1,000以下
	2	野呂町	—	0.0046	—	—	—	
	3	松ヶ丘町	—	—	1.6	—	—	

注) 表中の「—」は調査が行われていないことを示している。

出典：「ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）



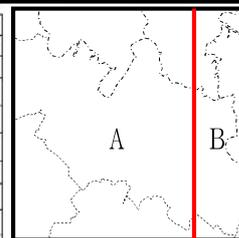
凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- - - 市境
- - - 区境

注) 図中のA、Bブロックでは凡例が異なるため、それぞれのブロックにおける凡例を示す。

出典：「土地分類基本調査図（土壤図）（千葉）」（昭和54年6月 千葉県）
 「土地分類基本調査図（土壤図）（東金・木戸）」（昭和52年7月 千葉県）

台地の土壤		低地の土壤	
A	B	A	B
厚層黒ボク土壤		グライ土壤	
Hkf	Hkf	Umd	馬立統
Hik	Hik	Smf	下総統
—	Mrm	Krb	黒部統
黒ボク土壤		粗粒グライ土壤	
—	Smn	Htm	一松統
YamF	YamF	低位泥炭土壤	
Yam	Yam	Ysd	吉田統
—	FkiF	黒泥土壤	
Fki	Fki	Lzm	和泉統
淡色黒ボク土壤		その他	
KsgF	KsgF	—	未区分地1
KasA	—	—	未区分地2
KasB	KasB		
KasC	—		
Siz	Siz		



色凡例区分

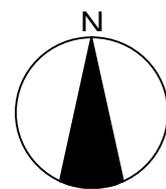
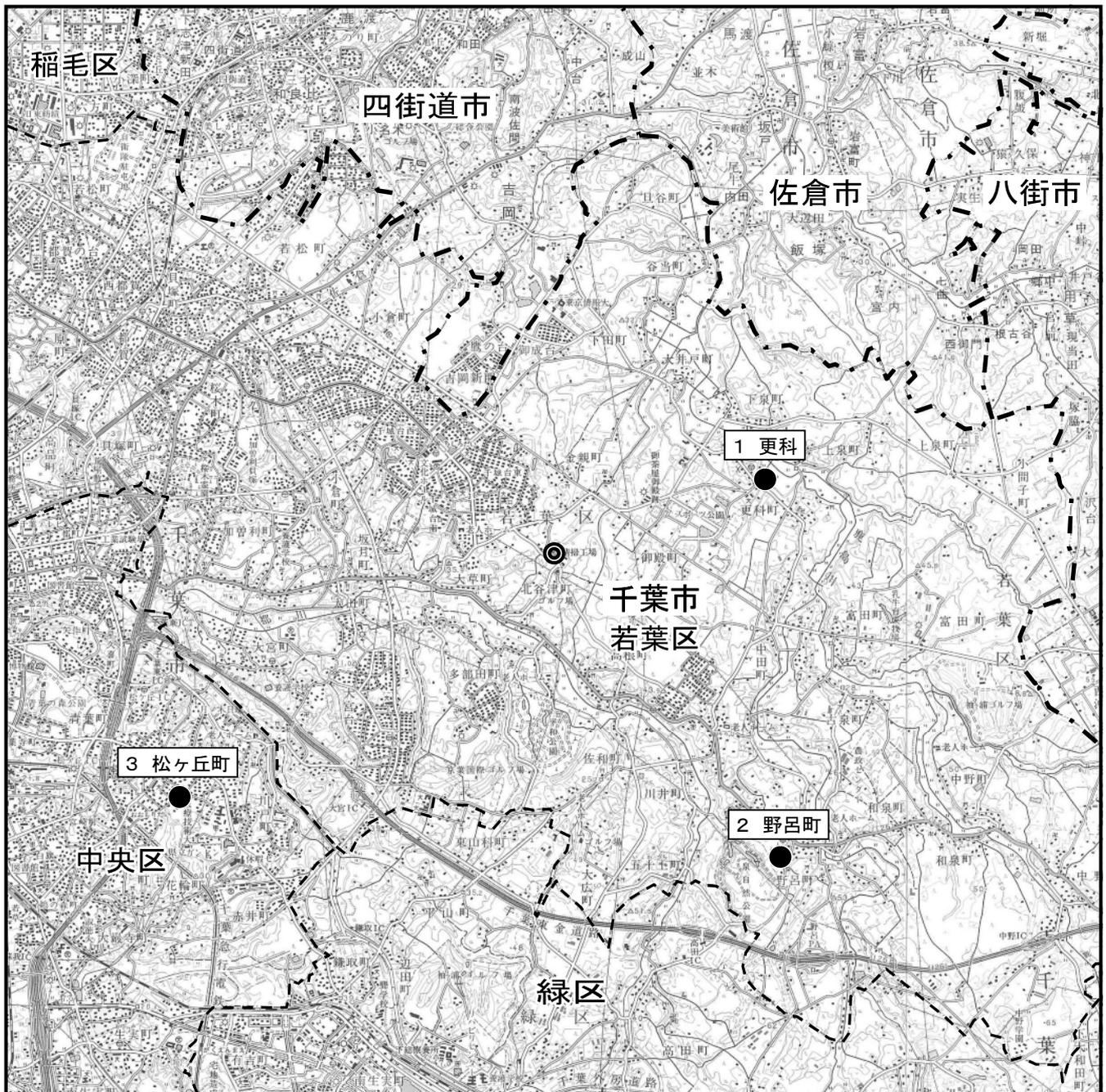


図 6-1.18 土壤図



凡 例

- ◎ 対象事業実施区域
- · - 市境
- - - 区境
- ダイオキシン類調査地点

出典：「平成 23～27 年度ダイオキシン類調査結果」（千葉市ホームページ）

この地図は、国土地理院発行の 1:50,000 地形図「千葉」「東金」を使用し、1:70,000 の縮尺に編集したものである。

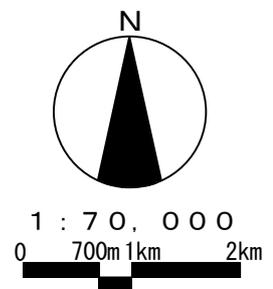


図 6-1.19 ダイオキシン類調査地点（土壌）